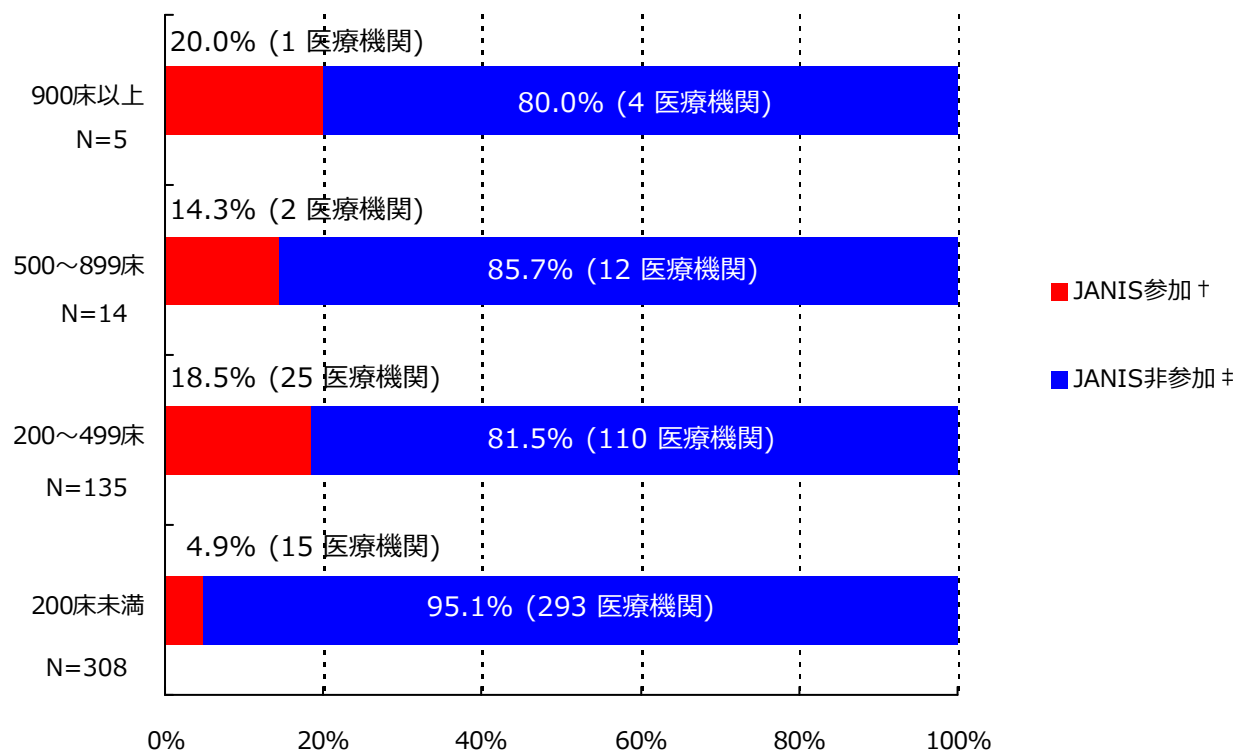


## 1. データ提出医療機関\*数(43医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	5	1 ( 20%)
500～899床	14	2 ( 14.3%)
200～499床	135	25 ( 18.5%)
200床未満	308	15 ( 4.9%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	462	43 ( 9.3%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(福岡県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

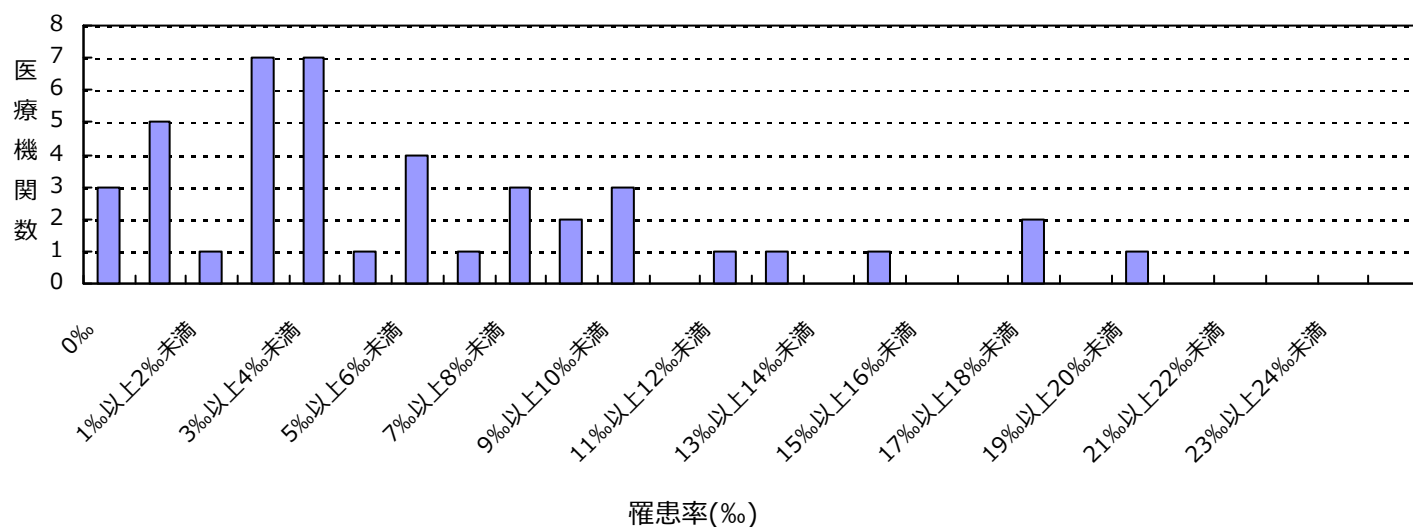


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	209,842	17	872	4.16%	0.00 3.77 19.41  ----- -----

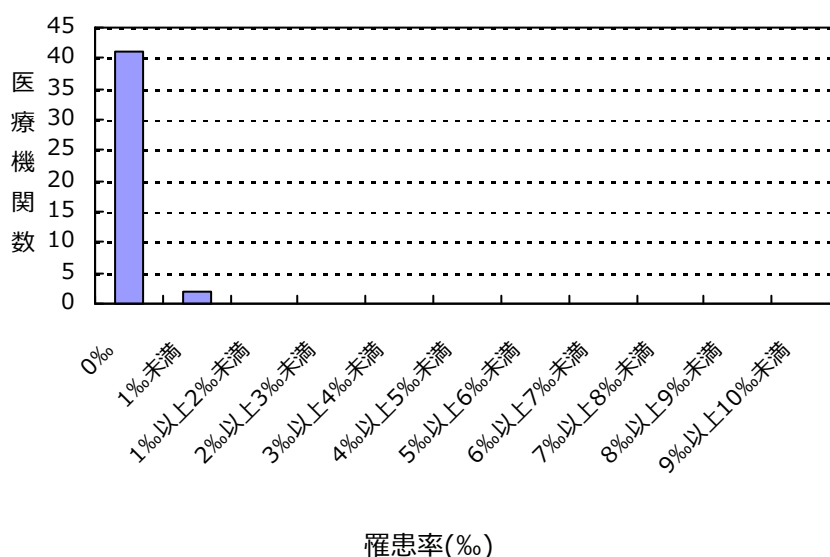
集計対象医療機関の罹患率(N=43)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	209,842	0	5	0.02%	0.00 0.00 0.25  ----- -----

集計対象医療機関の罹患率(N=43)



(福岡県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

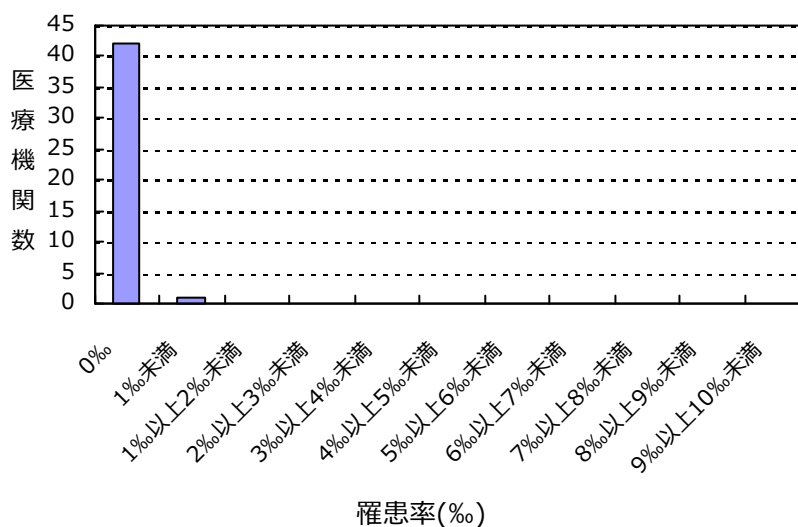


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	209,842	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.13

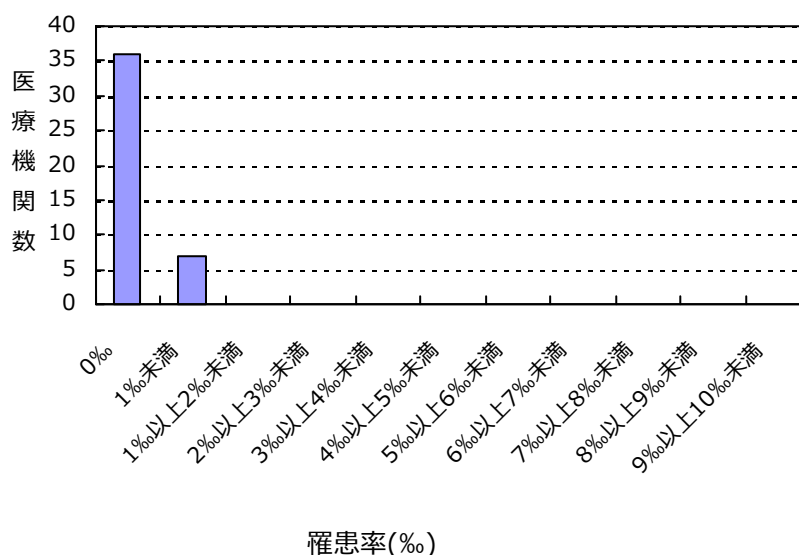
集計対象医療機関の罹患率(N=43)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	209,842	0	15	0.07%	0.00 0.00 0.81

集計対象医療機関の罹患率(N=43)



(福岡県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

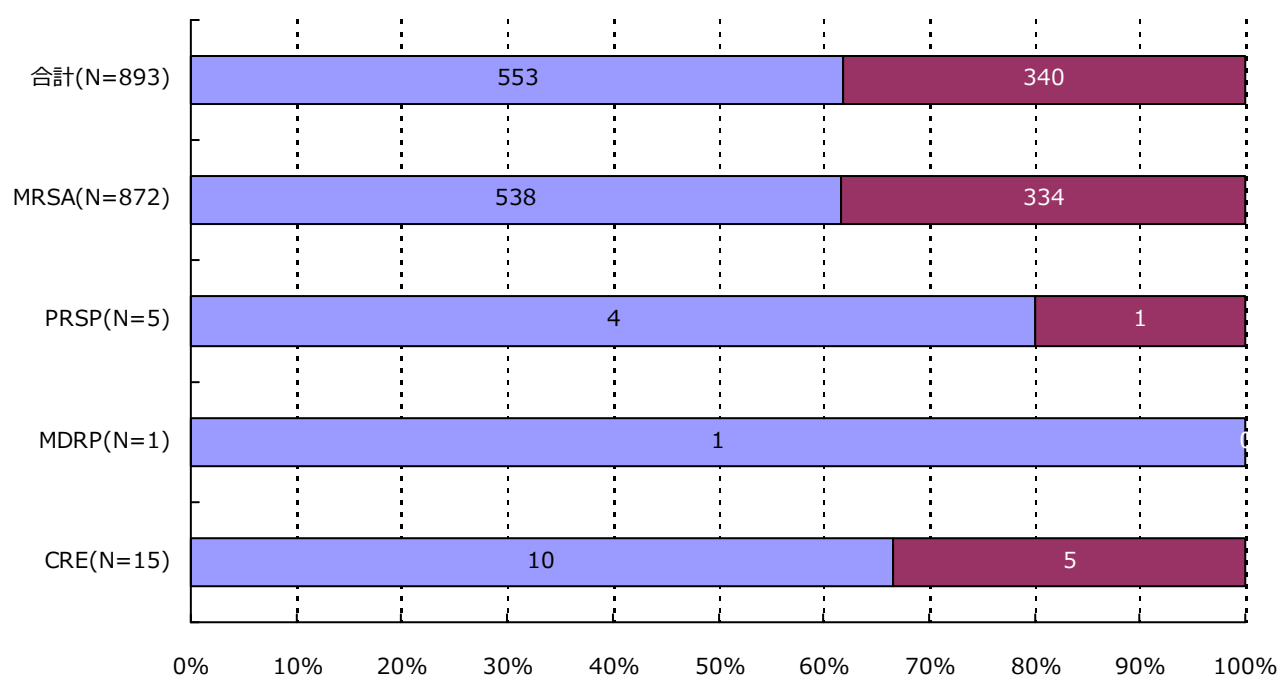
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

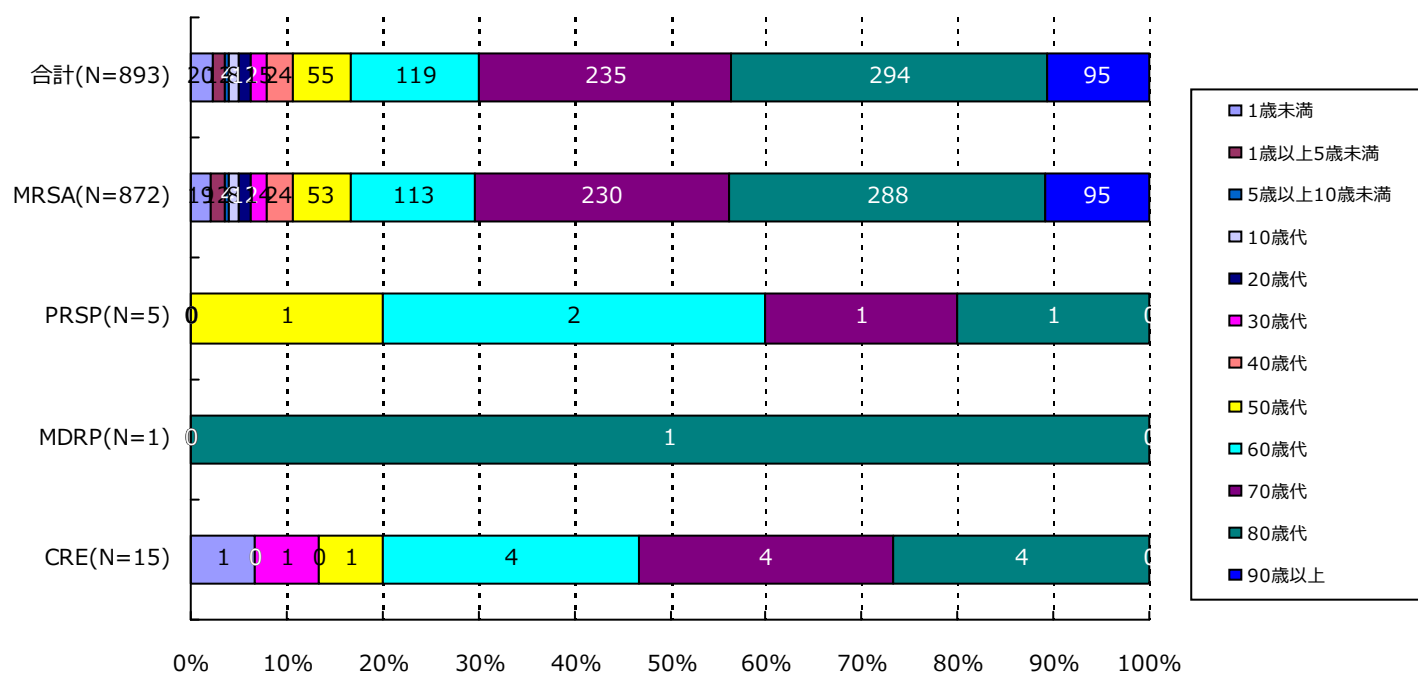
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



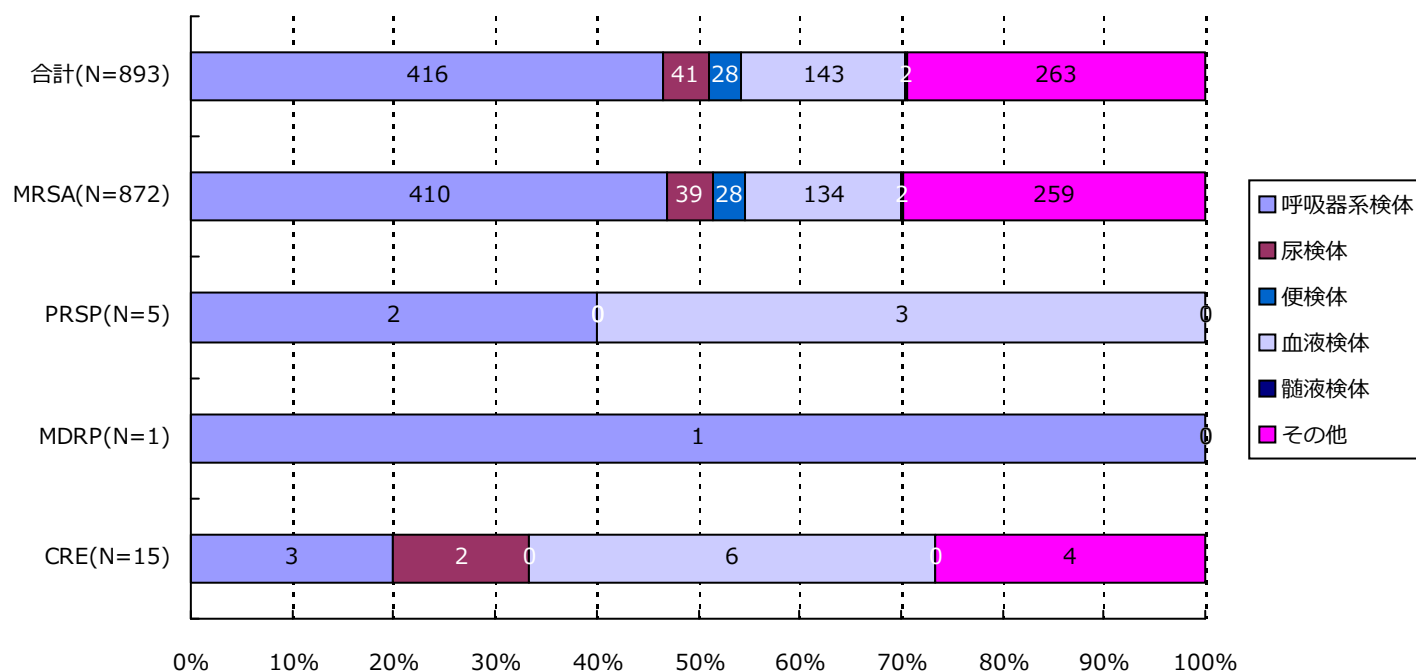
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	553 ( 61.9% )	538 ( 61.7% )	0 ( - )	0 ( - )	4 ( 80.0% )	1 ( 100.0% )	0 ( - )	10 ( 66.7% )
女	340 ( 38.1% )	334 ( 38.3% )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 20.0% )	0 ( - )	0 ( - )	5 ( 33.3% )
合計	893	872	0	0	5	1	0	15

#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	20( 2.2%)	19( 2.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 6.7%)
1歳以上5歳未満	12( 1.3%)	12( 1.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	4( 0.4%)	4( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	8( 0.9%)	8( 0.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	12( 1.3%)	12( 1.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	15( 1.7%)	14( 1.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 6.7%)
40歳代	24( 2.7%)	24( 2.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	55( 6.2%)	53( 6.1%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)	0( -)	0( -)	1( 6.7%)
60歳代	119( 13.3%)	113( 13.0%)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)	0( -)	0( -)	4( 26.7%)
70歳代	235( 26.3%)	230( 26.4%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)	0( -)	0( -)	4( 26.7%)
80歳代	294( 32.9%)	288( 33.0%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)	1( 100.0%)	0( -)	4( 26.7%)
90歳以上	95( 10.6%)	95( 10.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	893	872	0	0	5	1	0	15

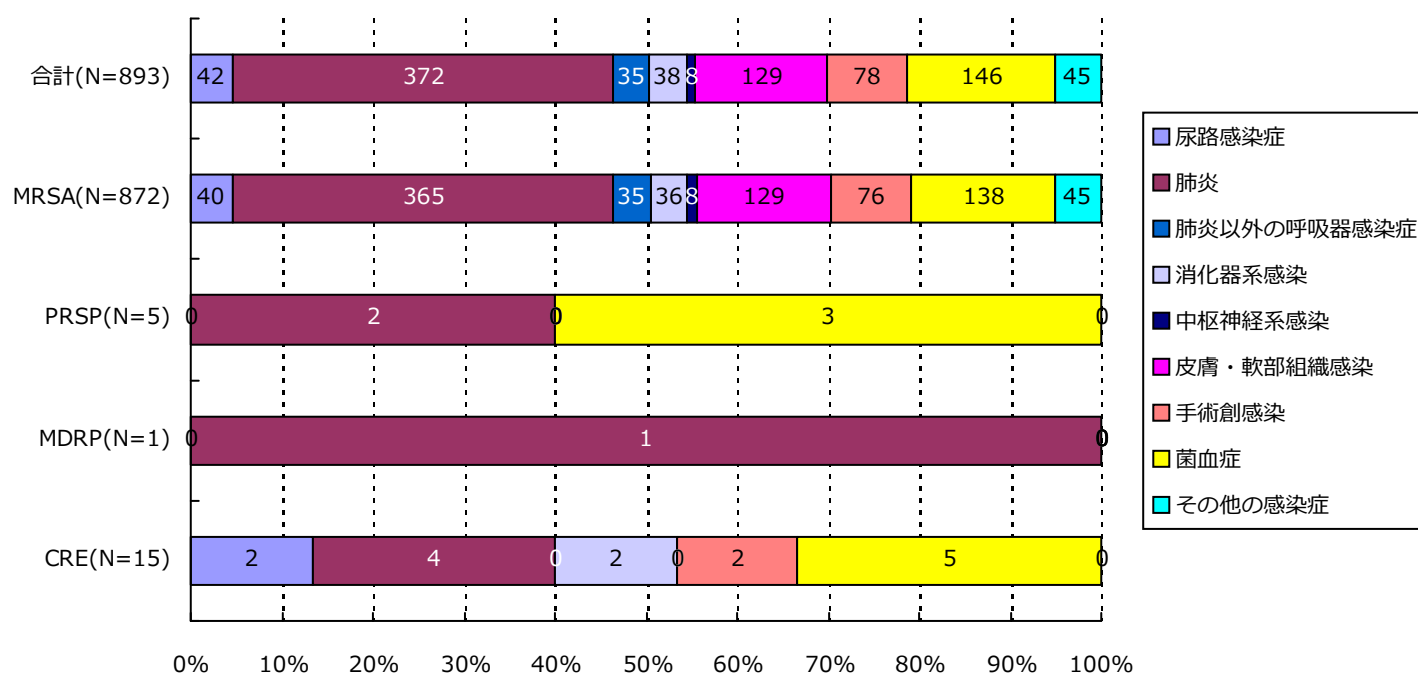
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	416( 46.6%)	410( 47.0%)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)	1( 100.0%)	0( -)	3( 20.0%)
尿検体	41( 4.6%)	39( 4.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 13.3%)
便検体	28( 3.1%)	28( 3.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	143( 16.0%)	134( 15.4%)	0( -)	0( -)	3( 60.0%)	0( -)	0( -)	6( 40.0%)
髄液検体	2( 0.2%)	2( 0.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	263( 29.5%)	259( 29.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	4( 26.7%)
合計	893	872	0	0	5	1	0	15

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	42( 4.7%)	40( 4.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 13.3%)
肺炎	372( 41.7%)	365( 41.9%)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)	1( 100.0%)	0( -)	4( 26.7%)
肺炎以外	35( 3.9%)	35( 4.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	38( 4.3%)	36( 4.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 13.3%)
中枢神経系	8( 0.9%)	8( 0.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	129( 14.4%)	129( 14.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	78( 8.7%)	76( 8.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 13.3%)
菌血症	146( 16.3%)	138( 15.8%)	0( -)	0( -)	3( 60.0%)	0( -)	0( -)	5( 33.3%)
その他	45( 5.0%)	45( 5.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	893	872	0	0	5	1	0	15



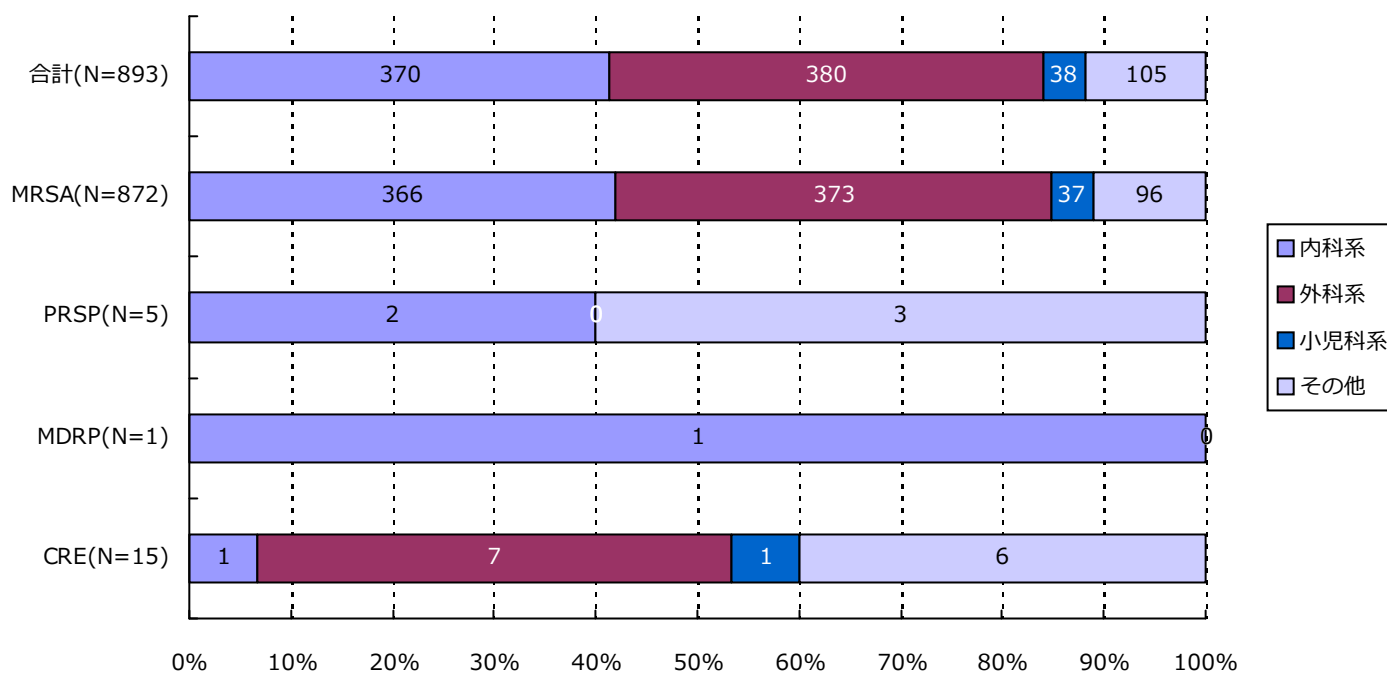
(福岡県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	370( 41.4%)	366( 42.0%)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)	1( 100.0%)	0( -)	1( 6.7%)
外科系	380( 42.6%)	373( 42.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	7( 46.7%)
小児科系	38( 4.3%)	37( 4.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 6.7%)
その他	105( 11.8%)	96( 11.0%)	0( -)	0( -)	3( 60.0%)	0( -)	0( -)	6( 40.0%)
合計	893	872	0	0	5	1	0	15

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

## ・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

# ・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

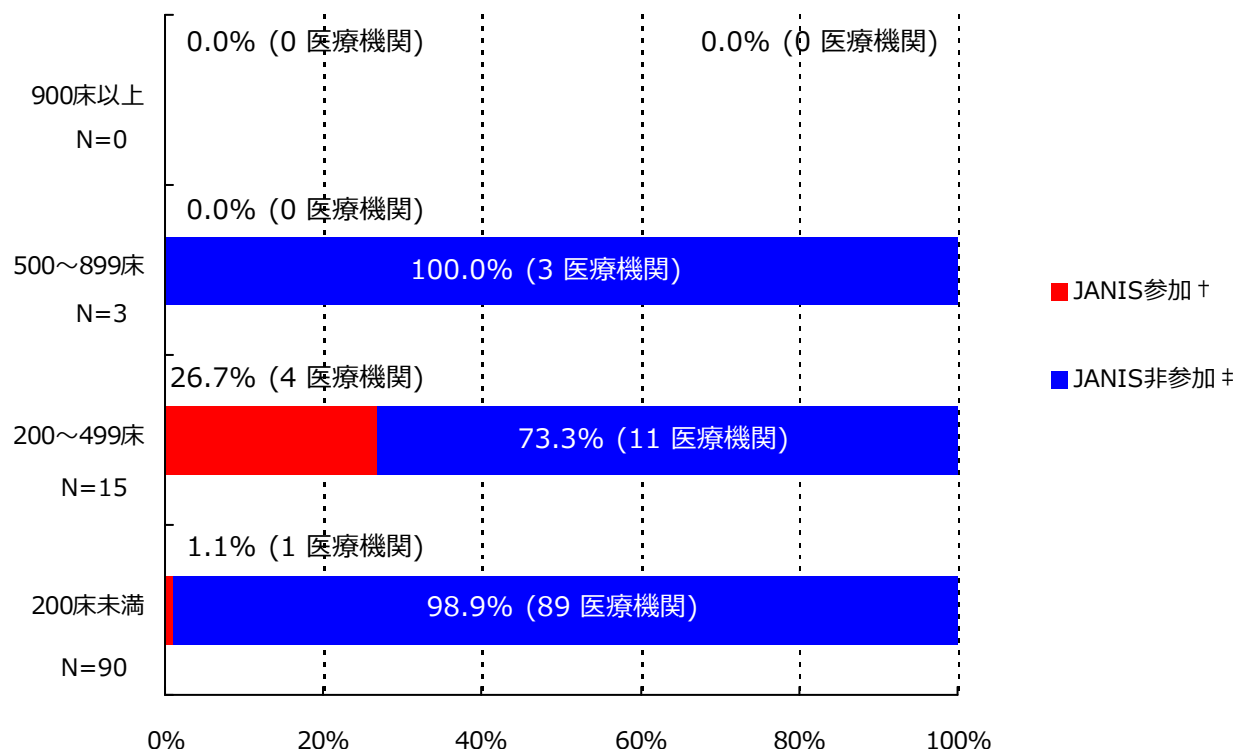
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(5医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	3	0 ( 0%)
200～499床	15	4 ( 26.7%)
200床未満	90	1 ( 1.1%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	108	5 ( 4.6%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(佐賀県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

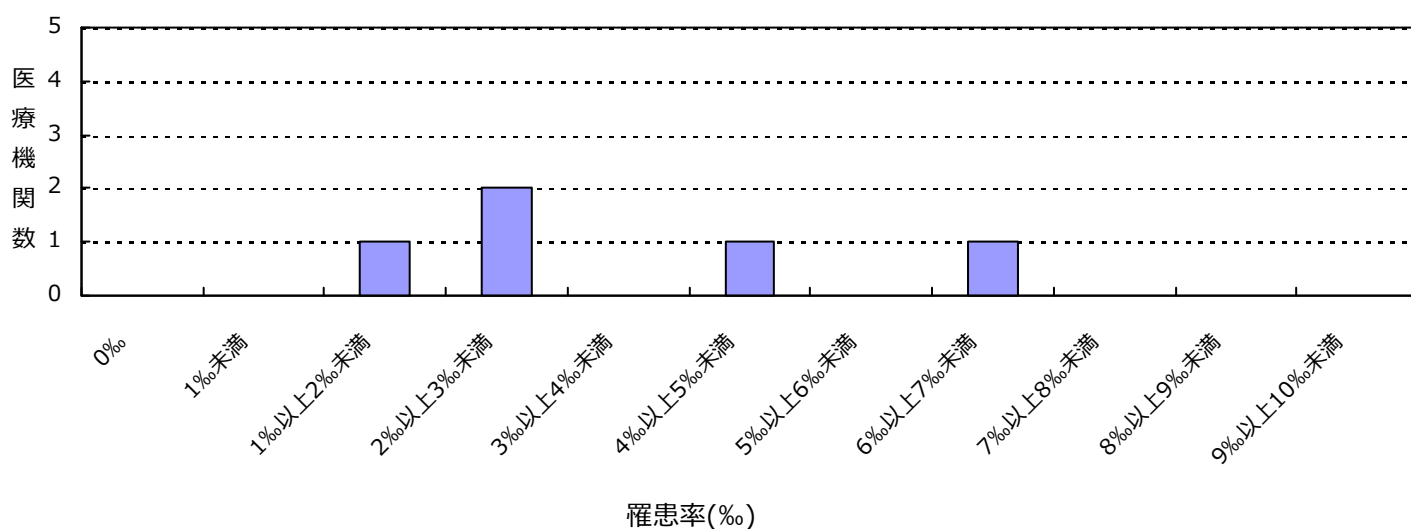


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	32,568	1	110	3.38%	1.31 2.96 6.60

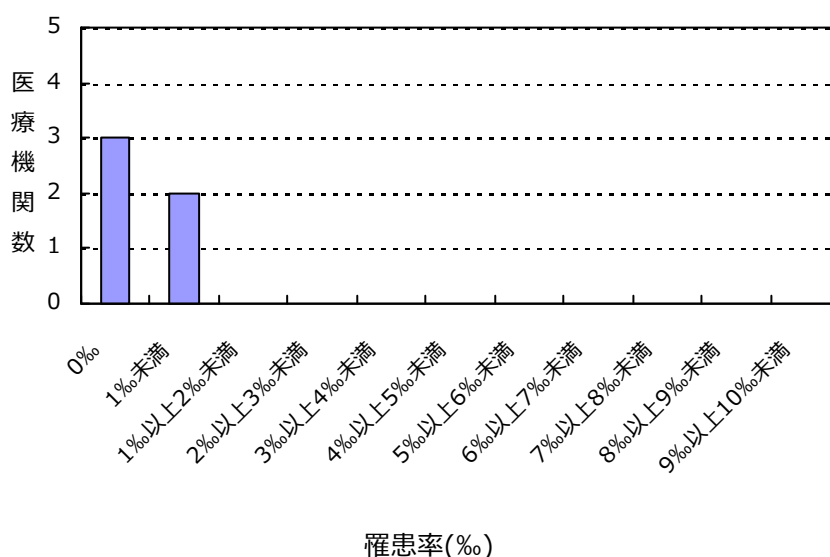
集計対象医療機関の罹患率(N=5)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	32,568	0	2	0.06%	0.00 0.00 0.35

集計対象医療機関の罹患率(N=5)



(佐賀県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

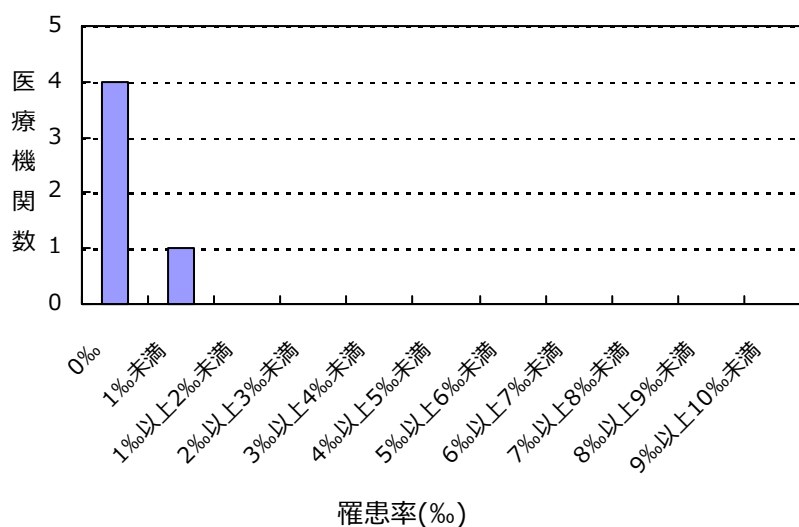


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	32,568	0	5	0.15‰	0.00 0.00 0.37

集計対象医療機関の罹患率(N=5)



(佐賀県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

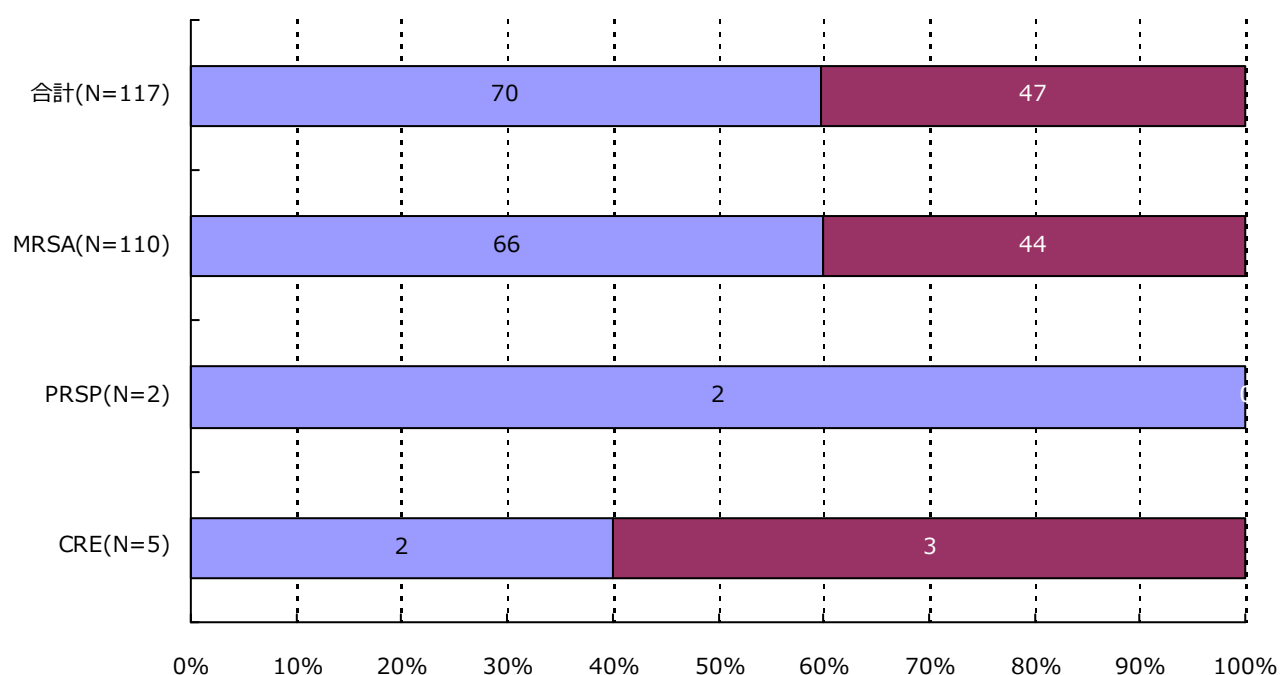
(佐賀県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	70 ( 59.8% )	66 ( 60.0% )	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 100.0% )	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 40.0% )
女	47 ( 40.2% )	44 ( 40.0% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	3 ( 60.0% )
合計	117	110	0	0	2	0	0	5



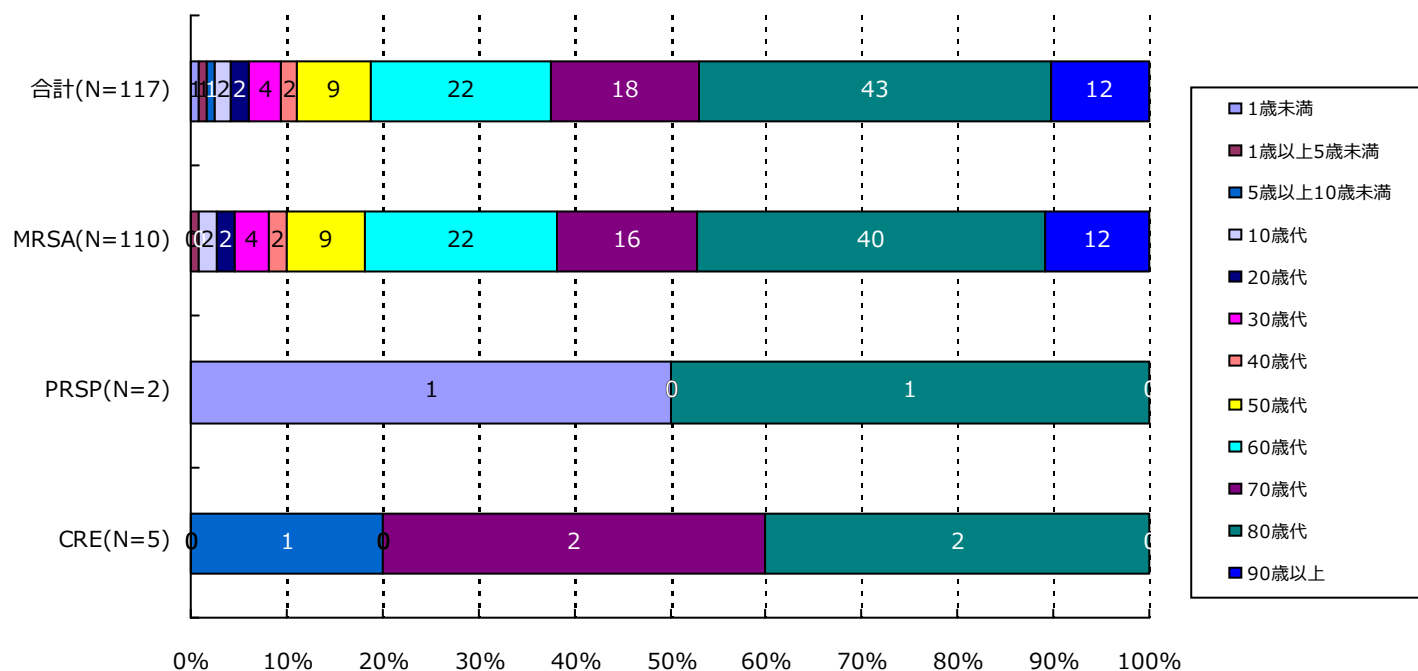
(佐賀県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

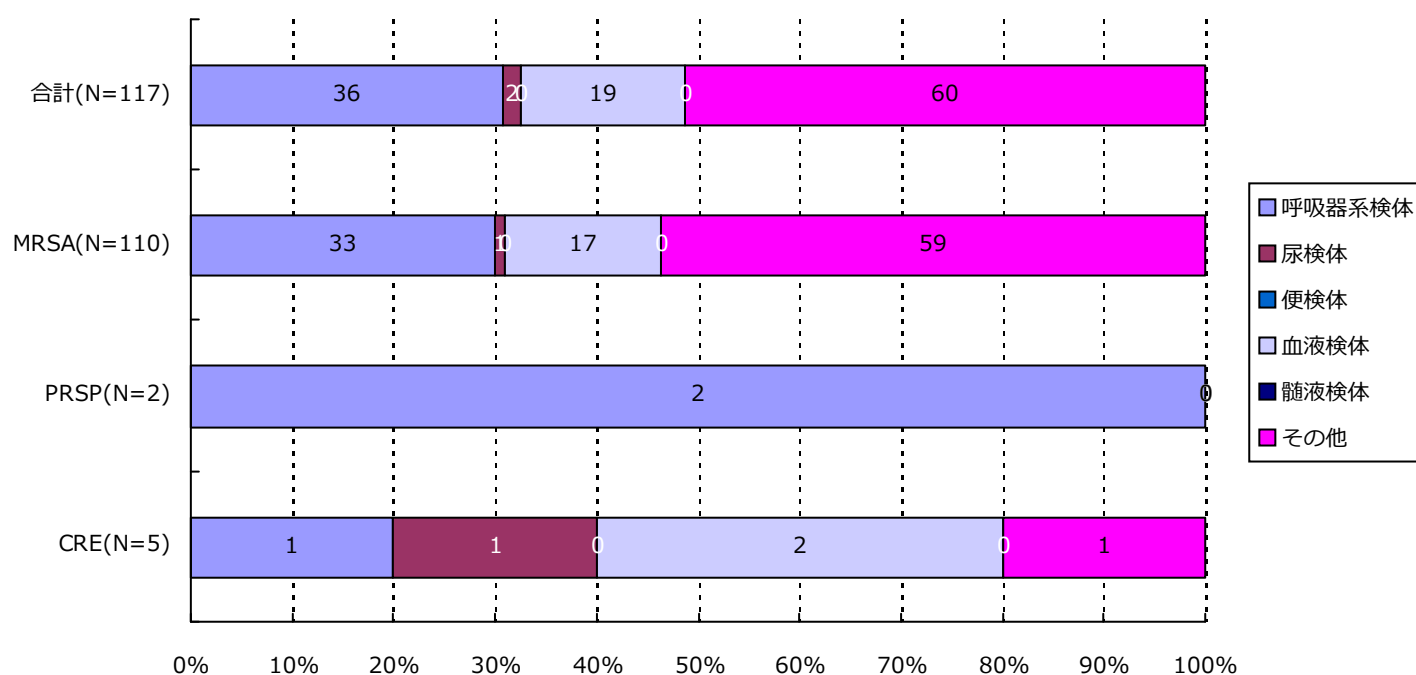


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1( 0.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	1( 0.9%)	1( 0.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	1( 0.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
10歳代	2( 1.7%)	2( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	2( 1.7%)	2( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	4( 3.4%)	4( 3.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	2( 1.7%)	2( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	9( 7.7%)	9( 8.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	22( 18.8%)	22( 20.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
70歳代	18( 15.4%)	16( 14.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)
80歳代	43( 36.8%)	40( 36.4%)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)
90歳以上	12( 10.3%)	12( 10.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	117	110	0	0	2	0	0	5

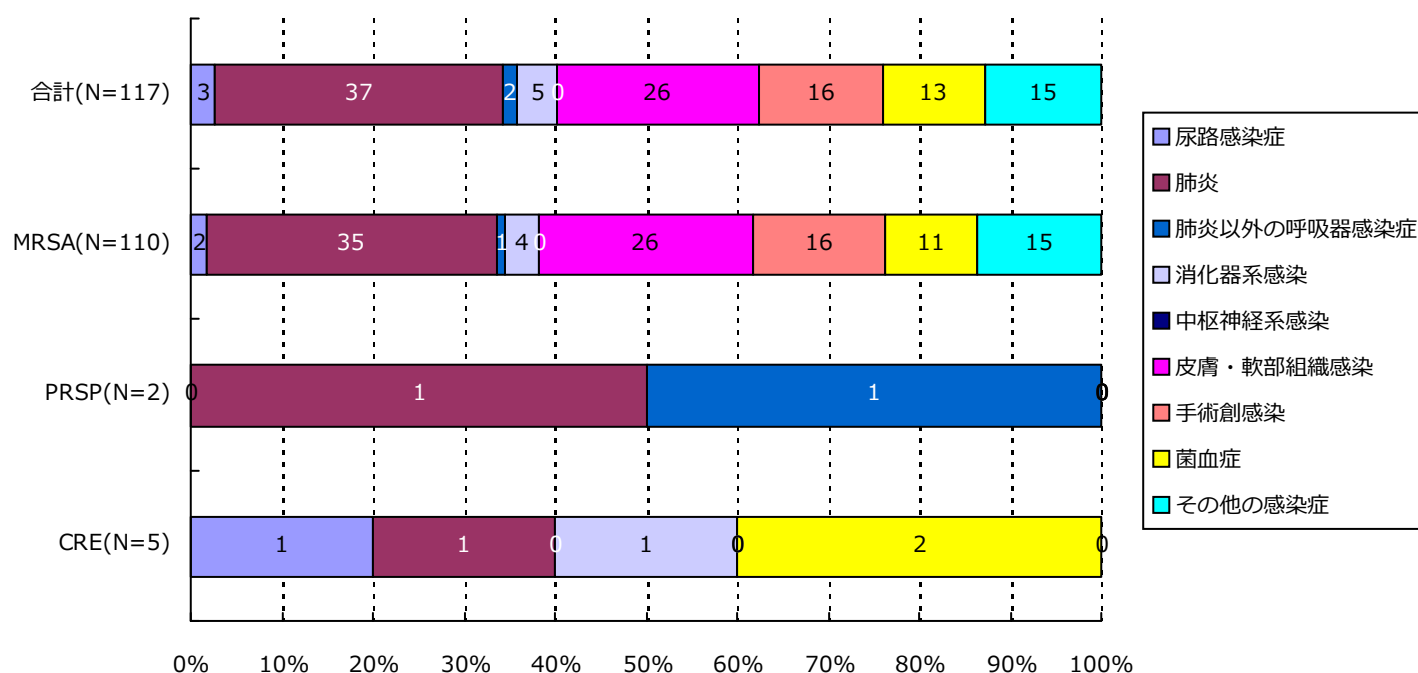
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	36( 30.8%)	33( 30.0%)	0( -)	0( -)	2( 100.0%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
尿検体	2( 1.7%)	1( 0.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
便検体	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	19( 16.2%)	17( 15.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)
髄液検体	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	60( 51.3%)	59( 53.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
合計	117	110	0	0	2	0	0	5

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	3( 2.6%)	2( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
肺炎	37( 31.6%)	35( 31.8%)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
肺炎以外	2( 1.7%)	1( 0.9%)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	5( 4.3%)	4( 3.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
中枢神経系	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	26( 22.2%)	26( 23.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	16( 13.7%)	16( 14.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	13( 11.1%)	11( 10.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)
その他	15( 12.8%)	15( 13.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	117	110	0	0	2	0	0	5

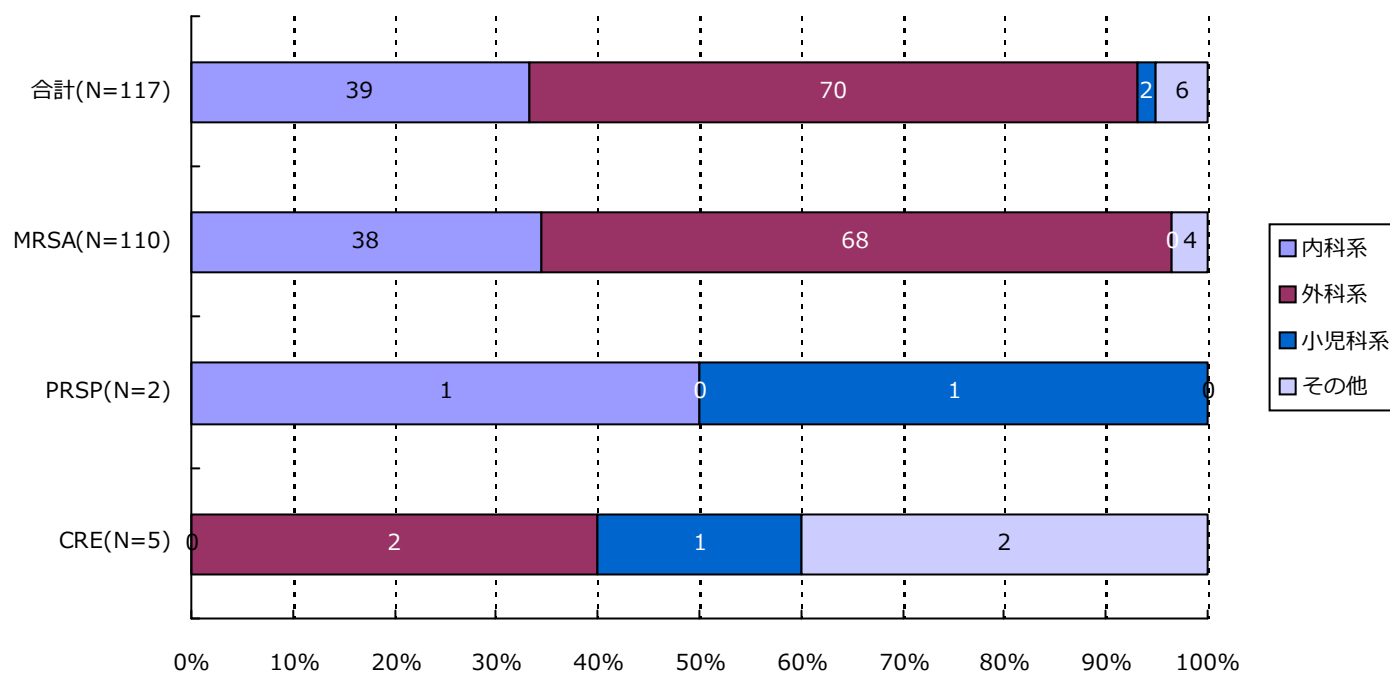
(佐賀県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	39( 33.3%)	38( 34.5%)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
外科系	70( 59.8%)	68( 61.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)
小児科系	2( 1.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
その他	6( 5.1%)	4( 3.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)
合計	117	110	0	0	2	0	0	5

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

## ・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

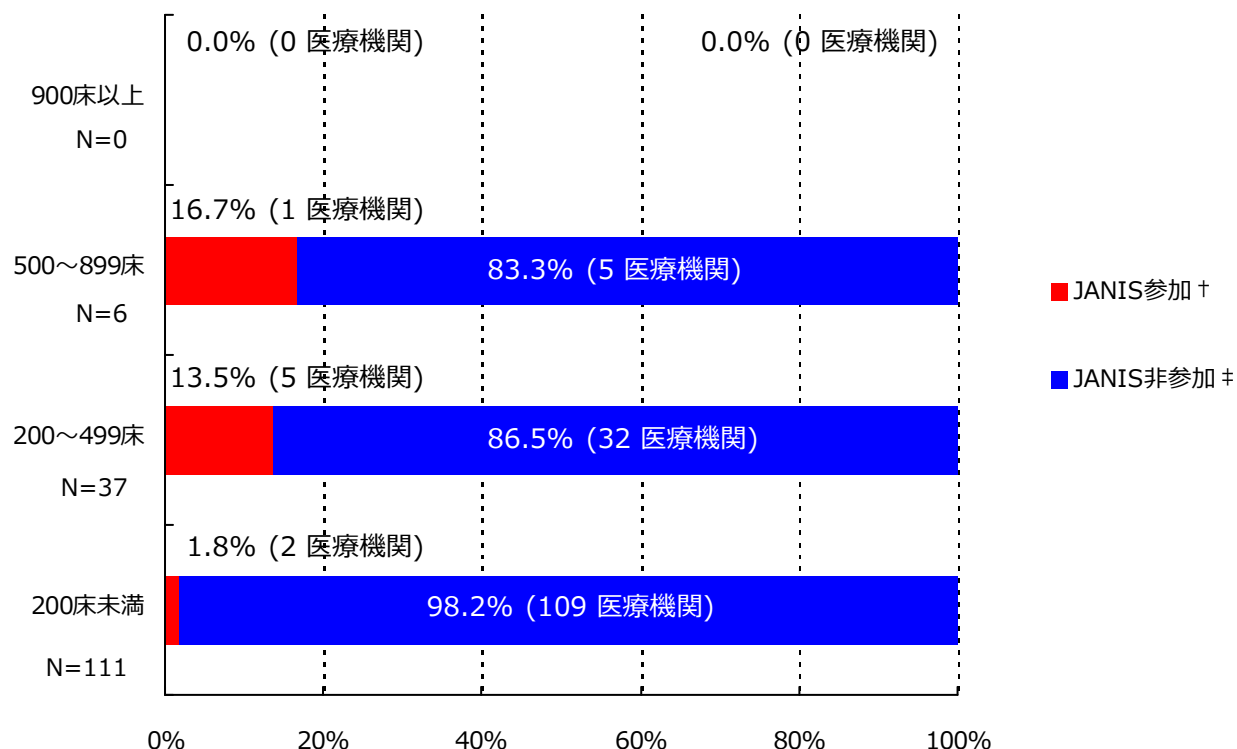
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(8医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	6	1 ( 16.7%)
200～499床	37	5 ( 13.5%)
200床未満	111	2 ( 1.8%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	154	8 ( 5.2%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(長崎県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

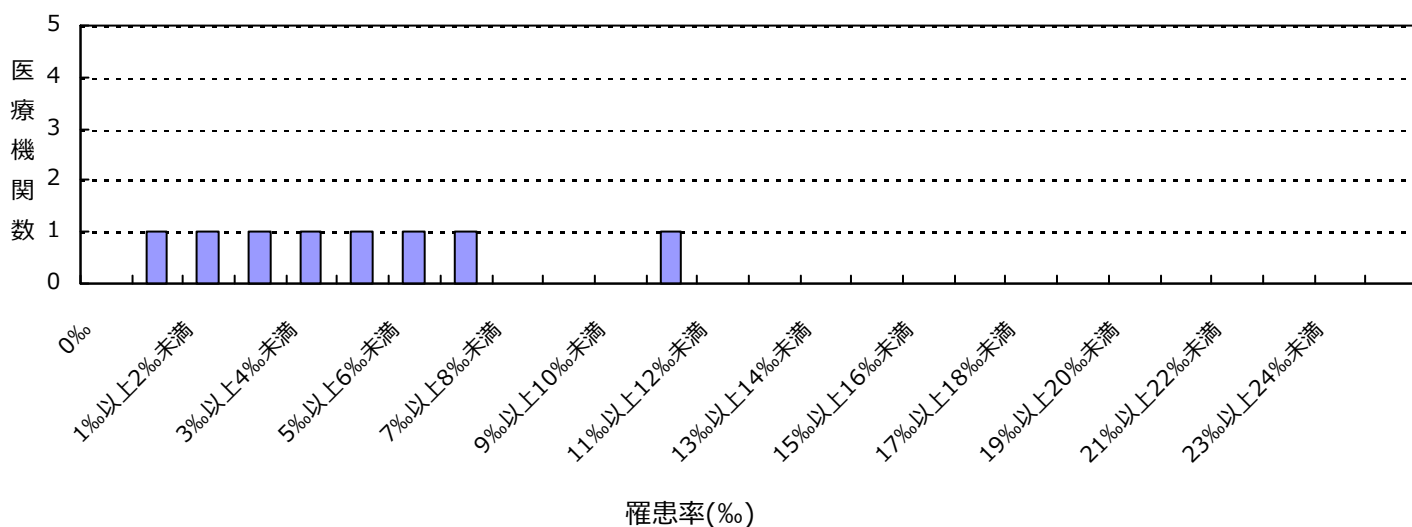


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	47,915	6	206	4.30%	0.77 3.72 10.82

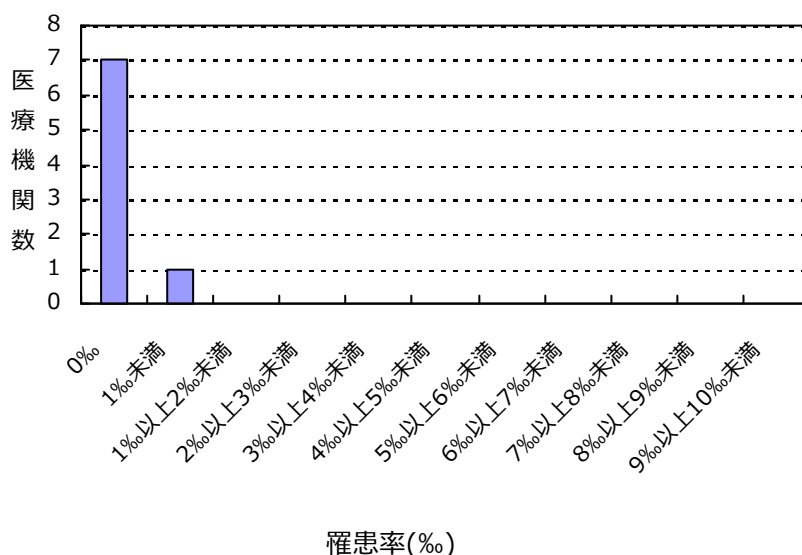
集計対象医療機関の罹患率(N=8)



### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	47,915	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.28

集計対象医療機関の罹患率(N=8)





(長崎県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

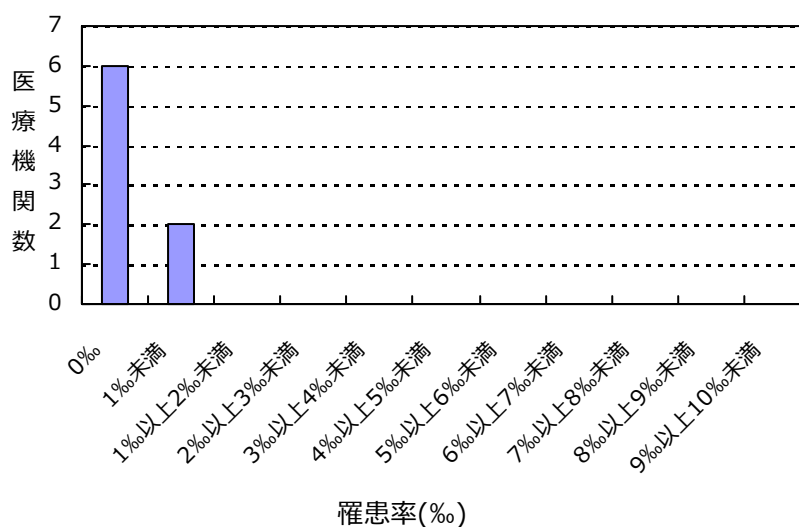


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	47,915	0	5	0.10‰	0.00 0.00 0.58 

集計対象医療機関の罹患率(N=8)



(長崎県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

## 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

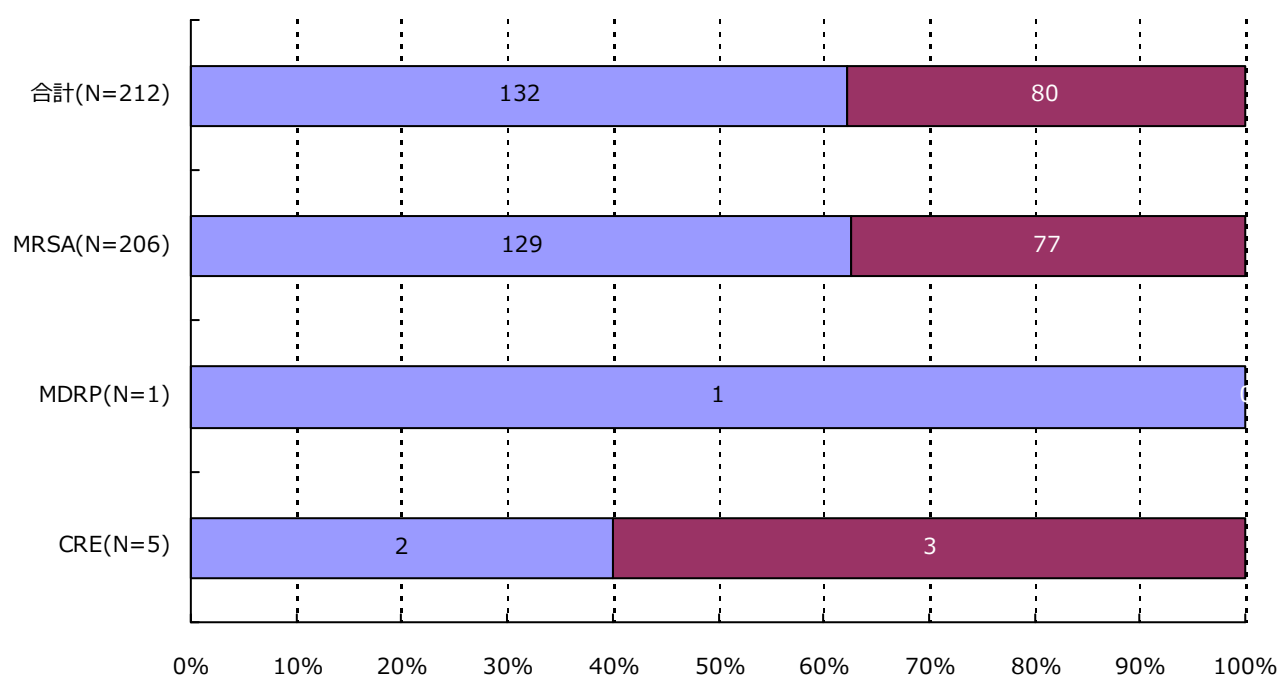
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	132 ( 62.3% )	129 ( 62.6% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 100.0% )	0 ( - )	2 ( 40.0% )
女	80 ( 37.7% )	77 ( 37.4% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	3 ( 60.0% )
合計	212	206	0	0	0	1	0	5

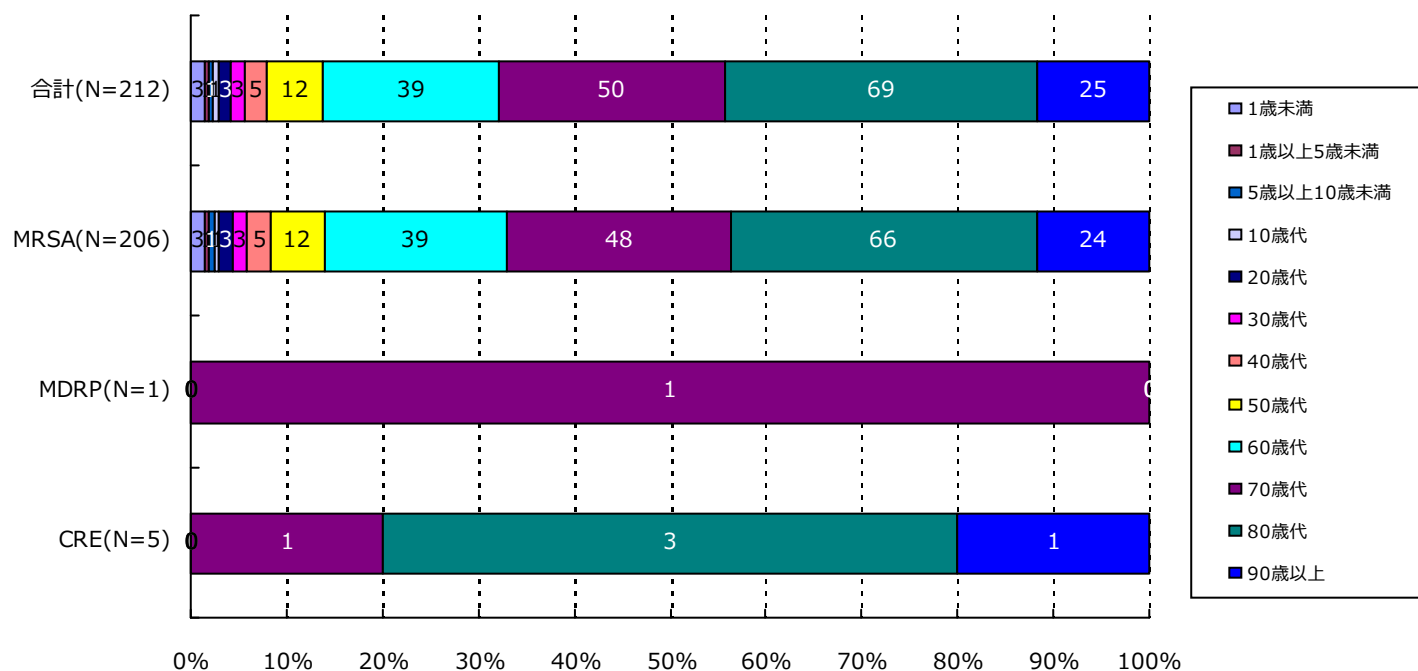
(長崎県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

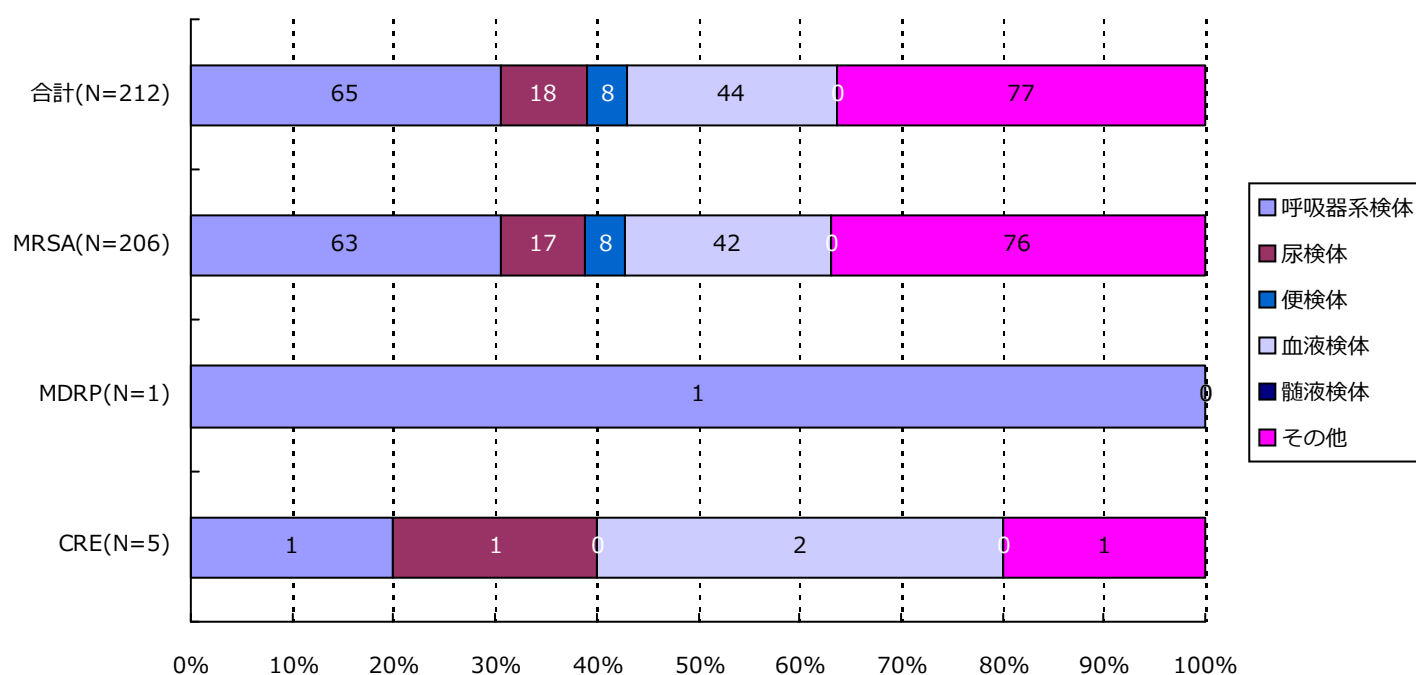


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3( 1.4%)	3( 1.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	1( 0.5%)	1( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	1( 0.5%)	1( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	1( 0.5%)	1( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	3( 1.4%)	3( 1.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	3( 1.4%)	3( 1.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	5( 2.4%)	5( 2.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	12( 5.7%)	12( 5.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	39( 18.4%)	39( 18.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
70歳代	50( 23.6%)	48( 23.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	1( 20.0%)
80歳代	69( 32.5%)	66( 32.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 60.0%)
90歳以上	25( 11.8%)	24( 11.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
合計	212	206	0	0	0	1	0	5

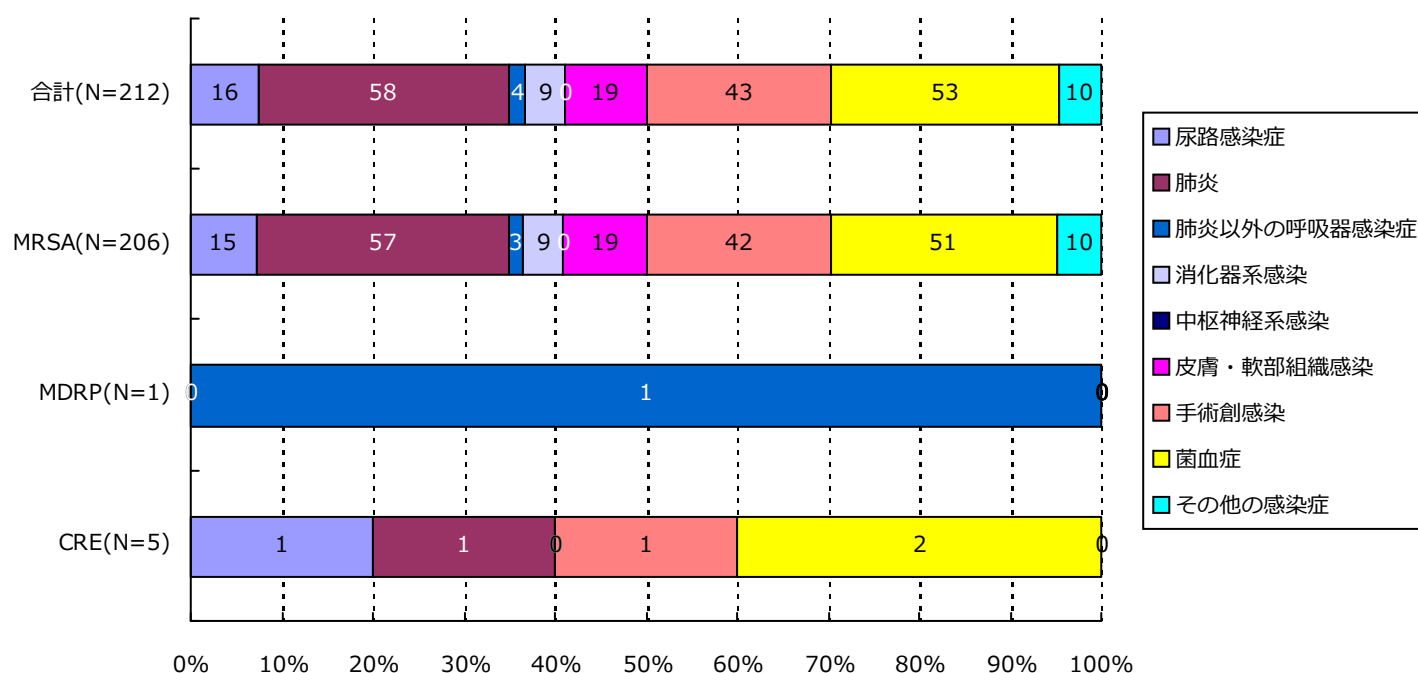
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	65( 30.7%)	63( 30.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	1( 20.0%)
尿検体	18( 8.5%)	17( 8.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
便検体	8( 3.8%)	8( 3.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	44( 20.8%)	42( 20.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)
髄液検体	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	77( 36.3%)	76( 36.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
合計	212	206	0	0	0	1	0	5

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	16( 7.5%)	15( 7.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
肺炎	58( 27.4%)	57( 27.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
肺炎以外	4( 1.9%)	3( 1.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	0( -)
消化器系	9( 4.2%)	9( 4.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
中枢神経系	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	19( 9.0%)	19( 9.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	43( 20.3%)	42( 20.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
菌血症	53( 25.0%)	51( 24.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)
その他	10( 4.7%)	10( 4.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	212	206	0	0	0	1	0	5

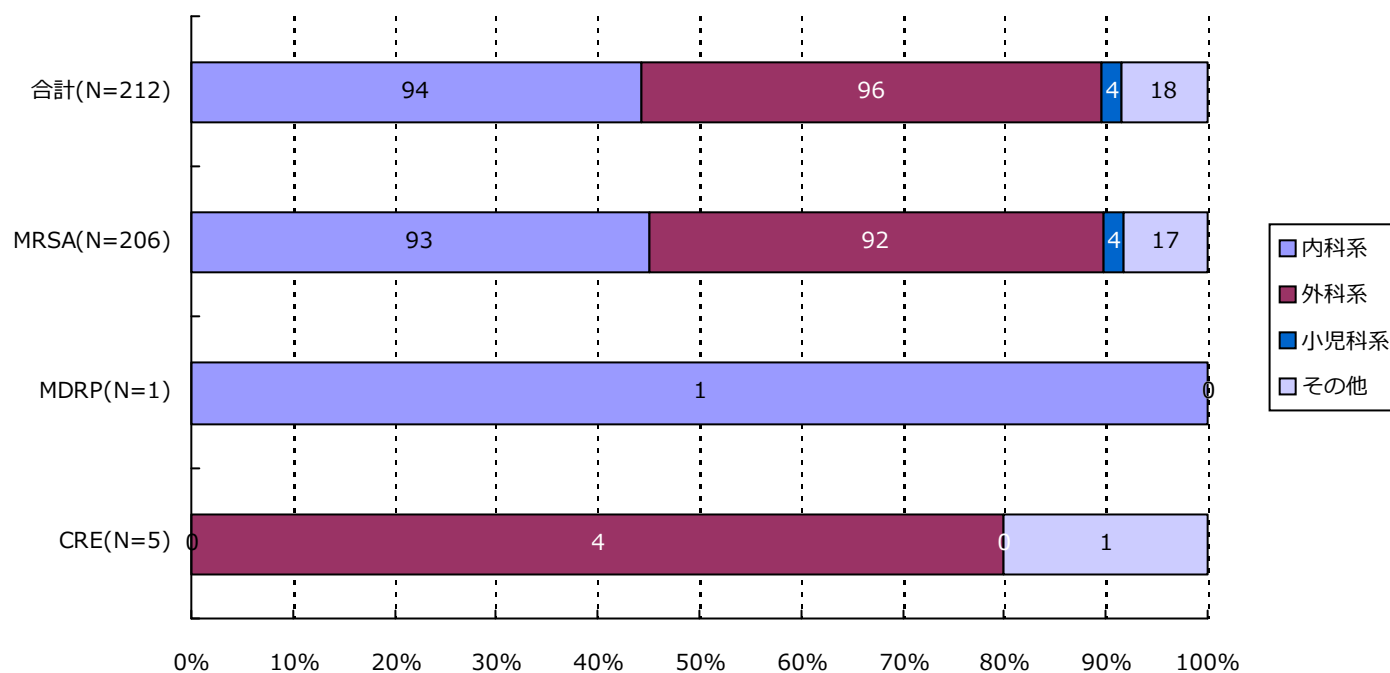
(長崎県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	94( 44.3%)	93( 45.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	0( -)
外科系	96( 45.3%)	92( 44.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	4( 80.0%)
小児科系	4( 1.9%)	4( 1.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	18( 8.5%)	17( 8.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
合計	212	206	0	0	0	1	0	5

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

## ・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	



# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

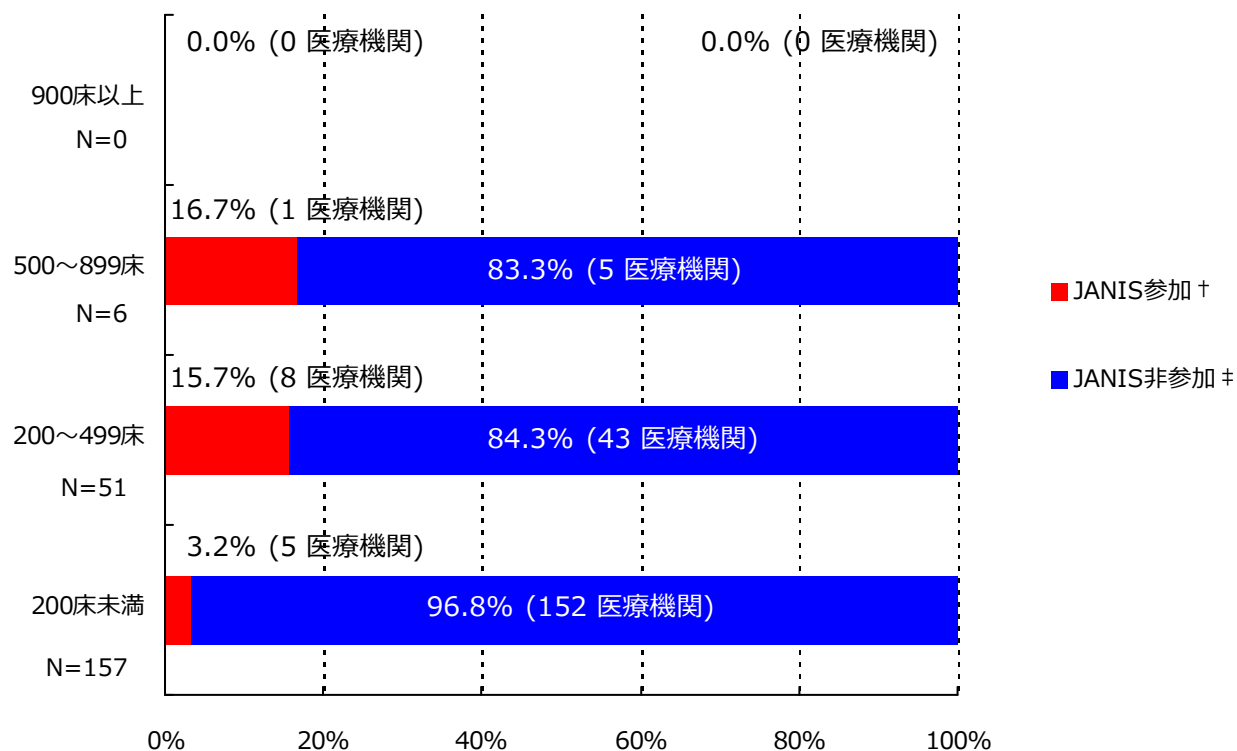
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(14医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	6	1 ( 16.7%)
200～499床	51	8 ( 15.7%)
200床未満	157	5 ( 3.2%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	214	14 ( 6.5%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(熊本県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

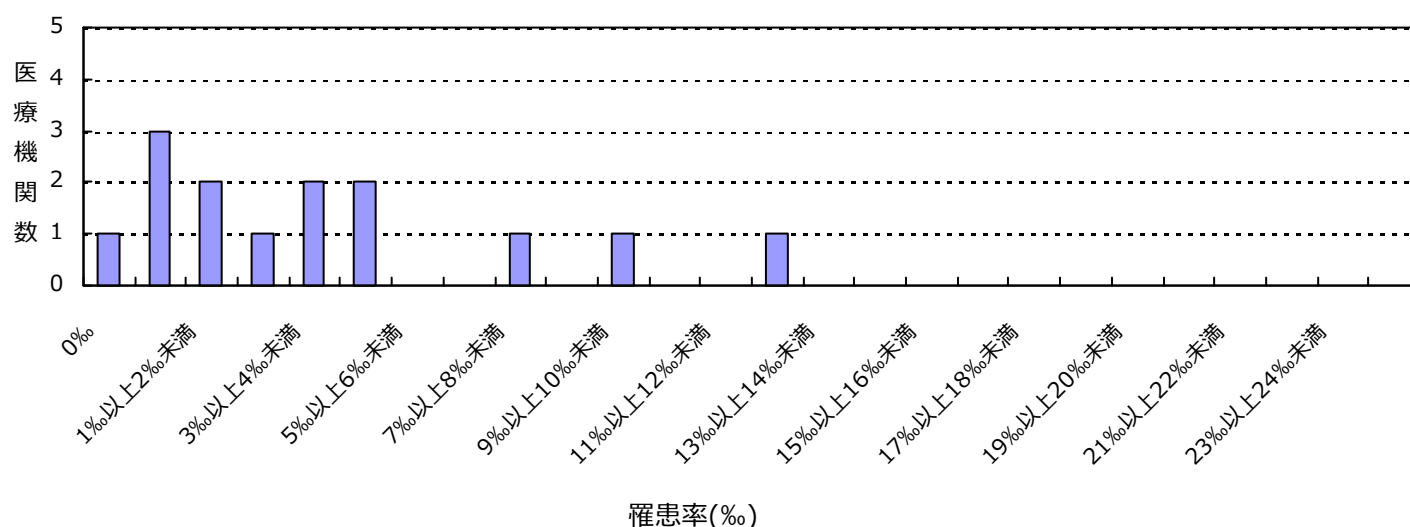


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	77,897	5	226	2.90%	0.00 2.98 12.58

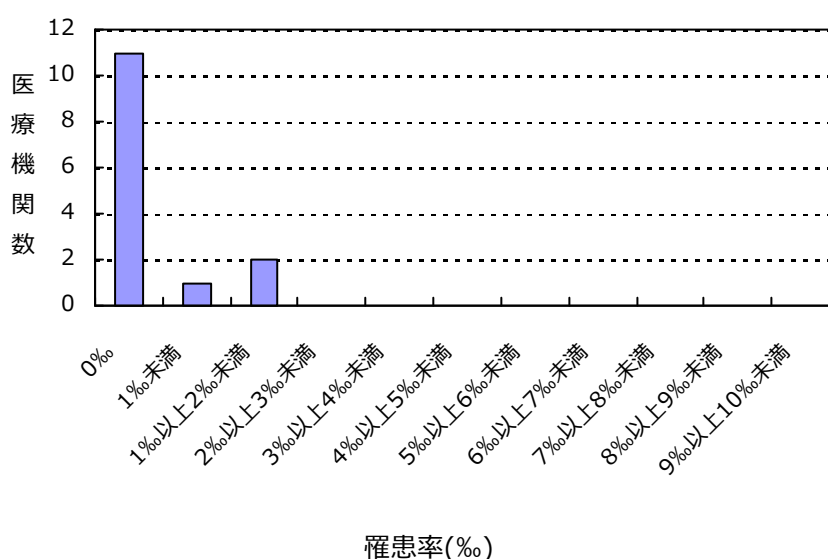
集計対象医療機関の罹患率(N=14)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	77,897	0	46	0.59%	0.00 0.00 1.62

集計対象医療機関の罹患率(N=14)



(熊本県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

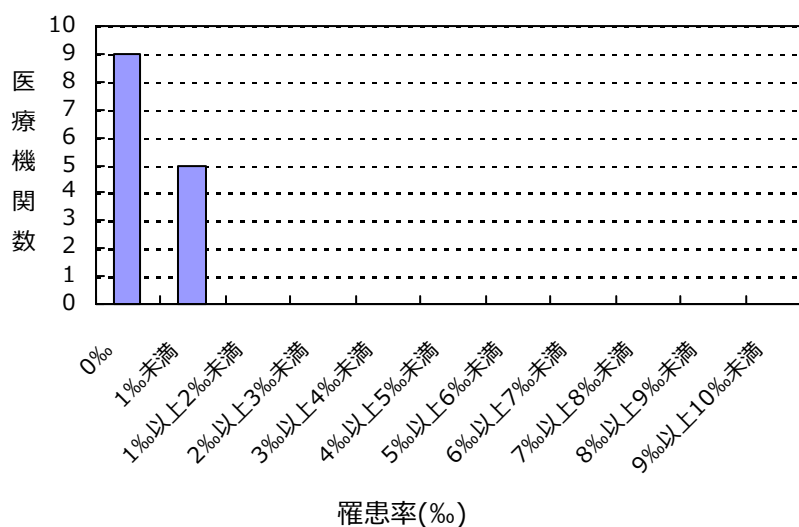


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	77,897	0	5	0.06‰	0.00 0.00 0.24

集計対象医療機関の罹患率(N=14)



(熊本県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

## 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

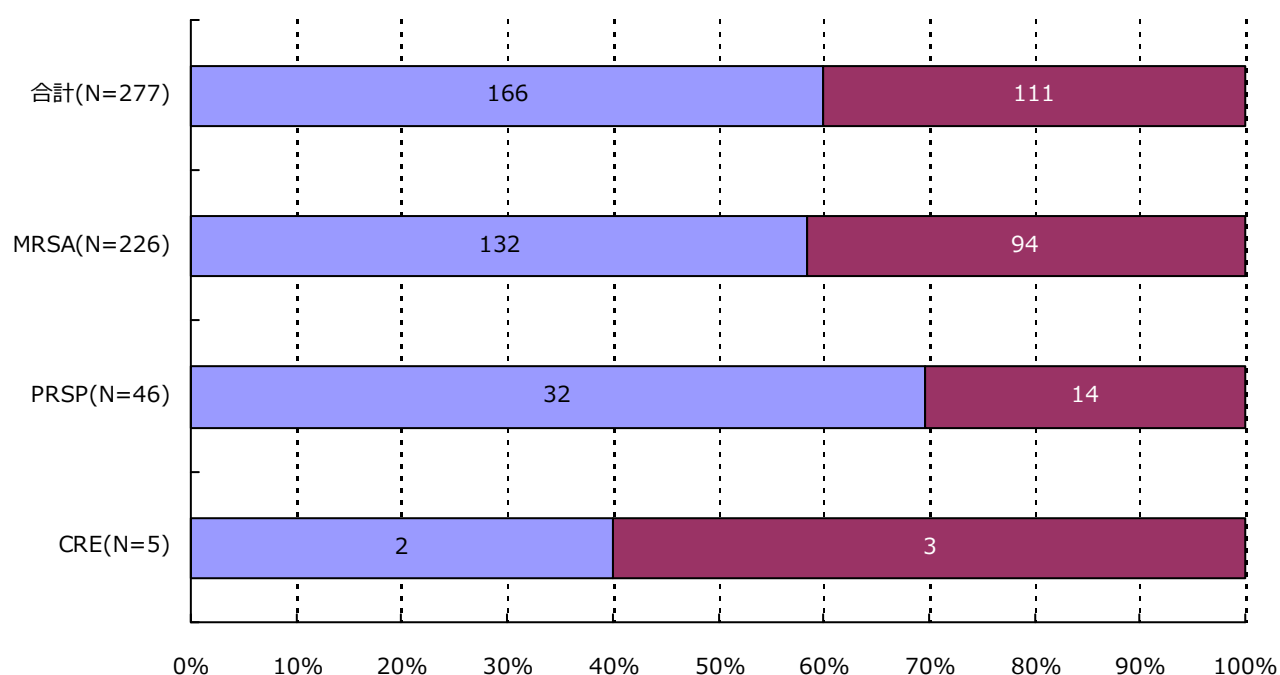
(熊本県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	166 ( 59.9% )	132 ( 58.4% )	0 ( - )	0 ( - )	32 ( 69.6% )	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 40.0% )
女	111 ( 40.1% )	94 ( 41.6% )	0 ( - )	0 ( - )	14 ( 30.4% )	0 ( - )	0 ( - )	3 ( 60.0% )
合計	277	226	0	0	46	0	0	5

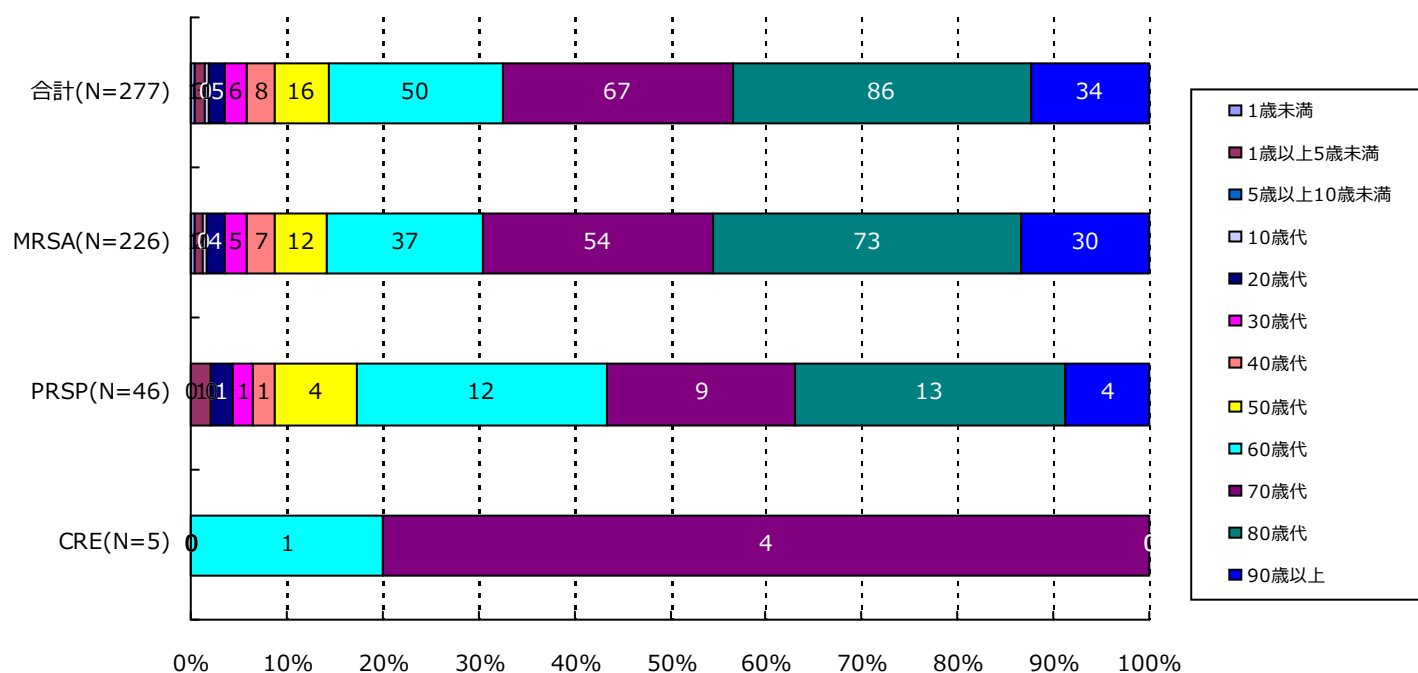
(熊本県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

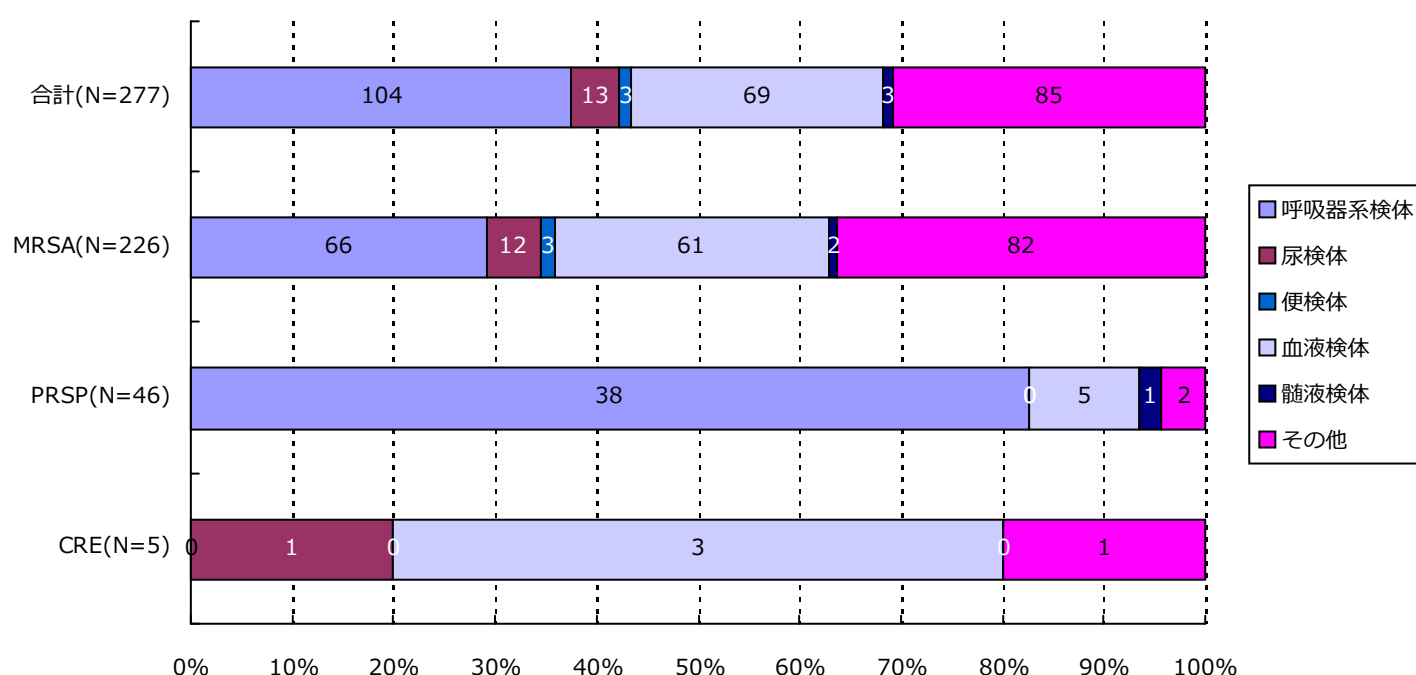


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1( 0.4%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	3( 1.1%)	2( 0.9%)	0( -)	0( -)	1( 2.2%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	1( 0.4%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	5( 1.8%)	4( 1.8%)	0( -)	0( -)	1( 2.2%)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	6( 2.2%)	5( 2.2%)	0( -)	0( -)	1( 2.2%)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	8( 2.9%)	7( 3.1%)	0( -)	0( -)	1( 2.2%)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	16( 5.8%)	12( 5.3%)	0( -)	0( -)	4( 8.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	50( 18.1%)	37( 16.4%)	0( -)	0( -)	12( 26.1%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
70歳代	67( 24.2%)	54( 23.9%)	0( -)	0( -)	9( 19.6%)	0( -)	0( -)	4( 80.0%)
80歳代	86( 31.0%)	73( 32.3%)	0( -)	0( -)	13( 28.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
90歳以上	34( 12.3%)	30( 13.3%)	0( -)	0( -)	4( 8.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	277	226	0	0	46	0	0	5

## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳

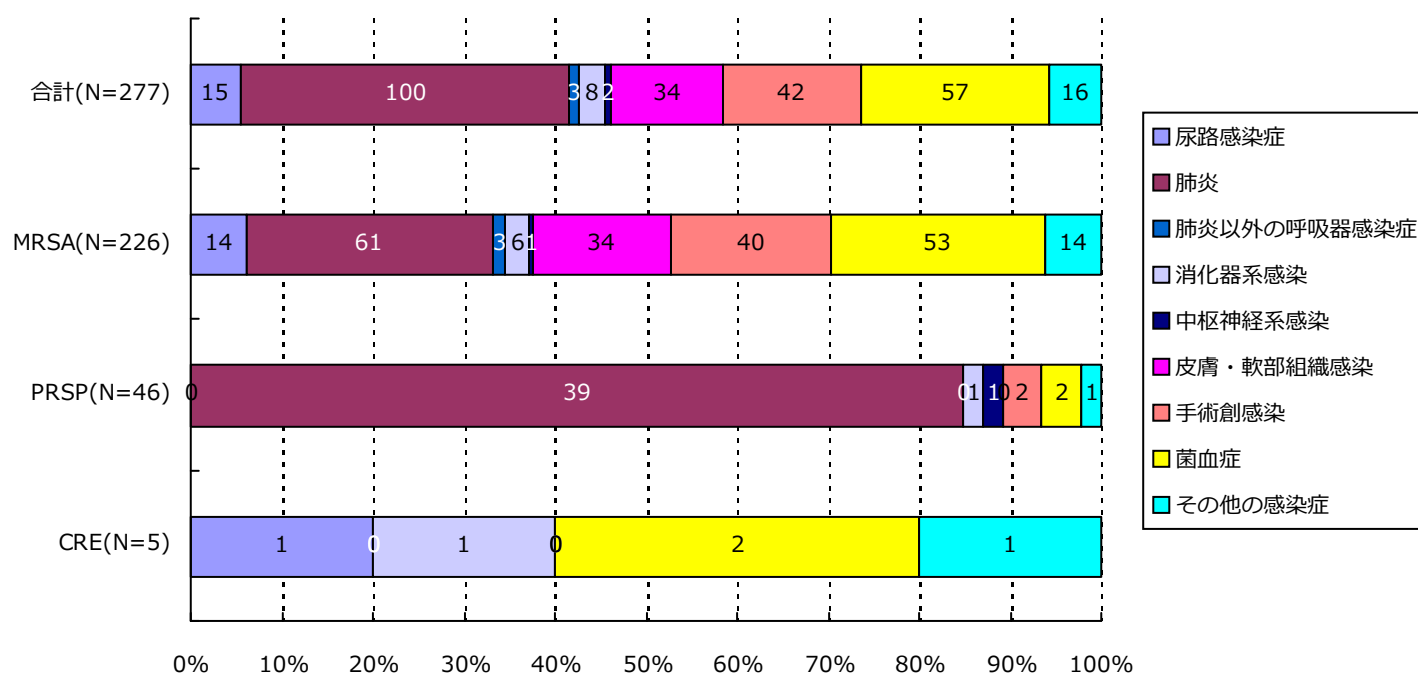


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	104( 37.5%)	66( 29.2%)	0( -)	0( -)	38( 82.6%)	0( -)	0( -)	0( -)
尿検体	13( 4.7%)	12( 5.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
便検体	3( 1.1%)	3( 1.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	69( 24.9%)	61( 27.0%)	0( -)	0( -)	5( 10.9%)	0( -)	0( -)	3( 60.0%)
髄液検体	3( 1.1%)	2( 0.9%)	0( -)	0( -)	1( 2.2%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	85( 30.7%)	82( 36.3%)	0( -)	0( -)	2( 4.3%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
合計	277	226	0	0	46	0	0	5

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照



## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	15( 5.4%)	14( 6.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
肺炎	100( 36.1%)	61( 27.0%)	0( -)	0( -)	39( 84.8%)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎以外	3( 1.1%)	3( 1.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	8( 2.9%)	6( 2.7%)	0( -)	0( -)	1( 2.2%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
中枢神経系	2( 0.7%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	1( 2.2%)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	34( 12.3%)	34( 15.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	42( 15.2%)	40( 17.7%)	0( -)	0( -)	2( 4.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	57( 20.6%)	53( 23.5%)	0( -)	0( -)	2( 4.3%)	0( -)	0( -)	2( 40.0%)
その他	16( 5.8%)	14( 6.2%)	0( -)	0( -)	1( 2.2%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
合計	277	226	0	0	46	0	0	5

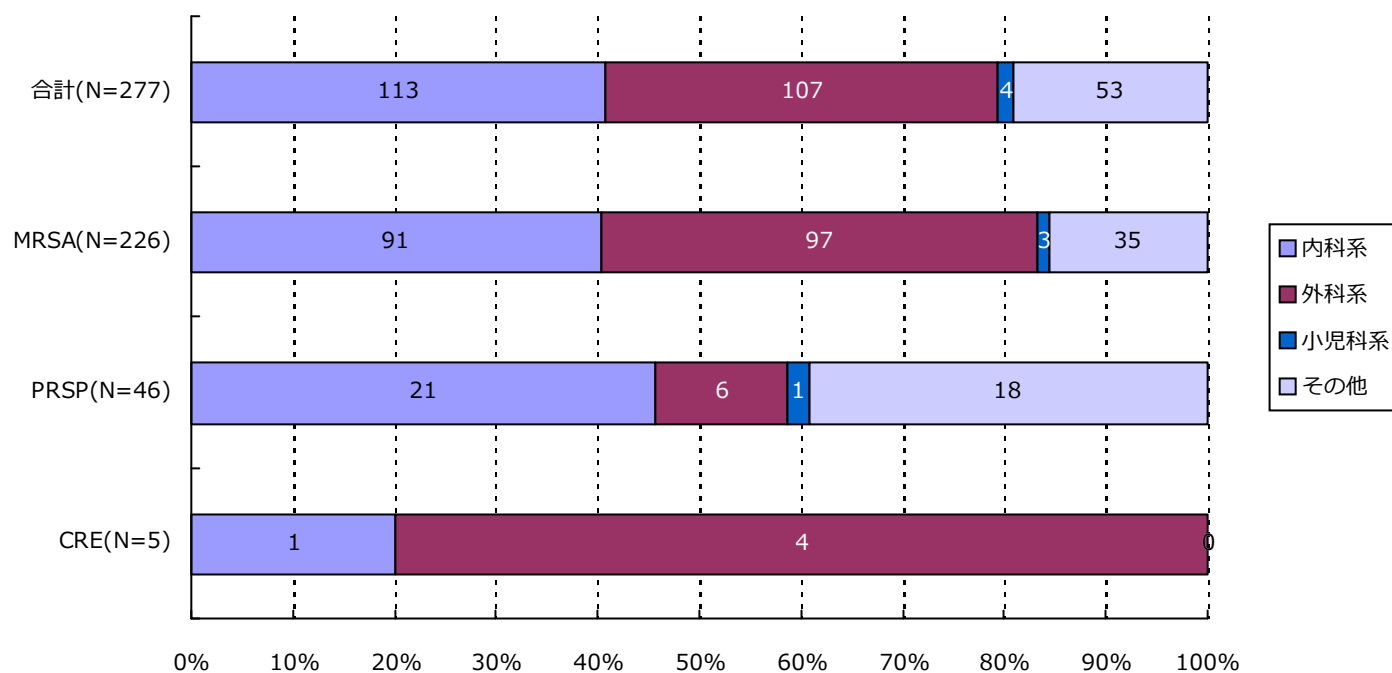
(熊本県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	113( 40.8%)	91( 40.3%)	0( -)	0( -)	21( 45.7%)	0( -)	0( -)	1( 20.0%)
外科系	107( 38.6%)	97( 42.9%)	0( -)	0( -)	6( 13.0%)	0( -)	0( -)	4( 80.0%)
小児科系	4( 1.4%)	3( 1.3%)	0( -)	0( -)	1( 2.2%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	53( 19.1%)	35( 15.5%)	0( -)	0( -)	18( 39.1%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	277	226	0	0	46	0	0	5

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

## ・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

# ・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

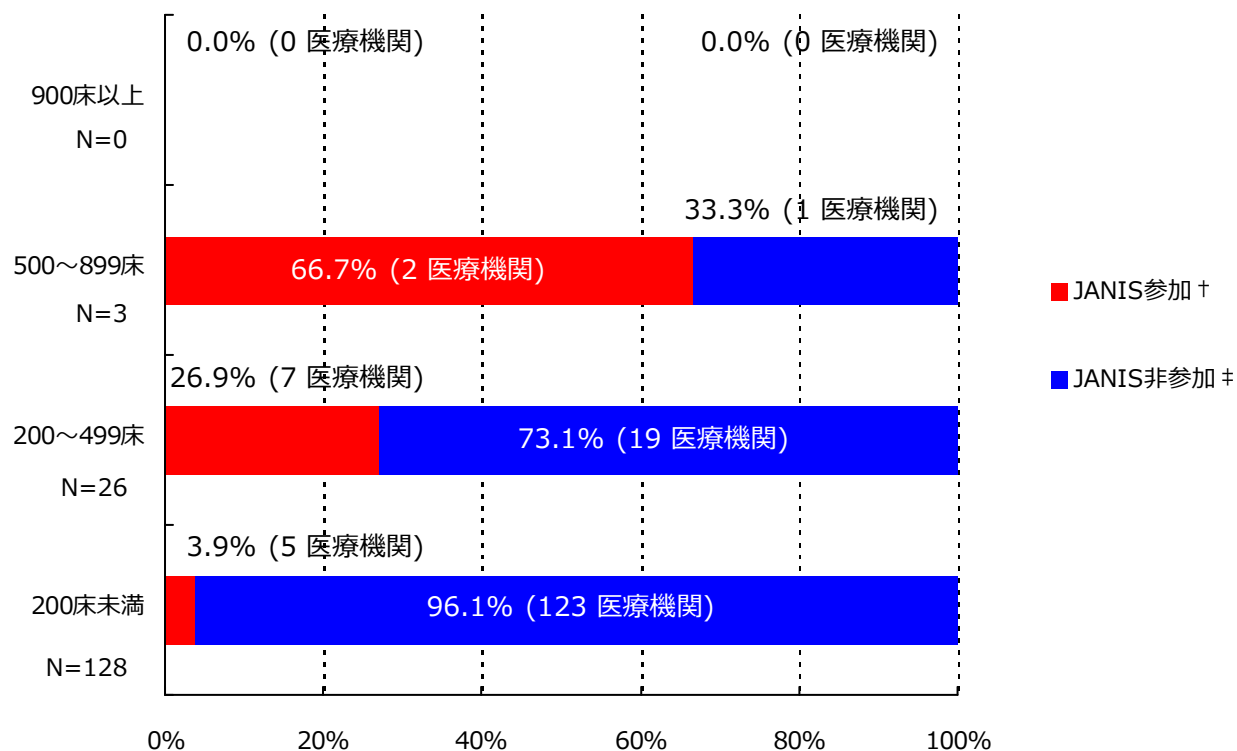
+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

(大分県)  
公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 1. データ提出医療機関\*数(14医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	3	2 ( 66.7%)
200～499床	26	7 ( 26.9%)
200床未満	128	5 ( 3.9%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	157	14 ( 8.9%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(大分県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

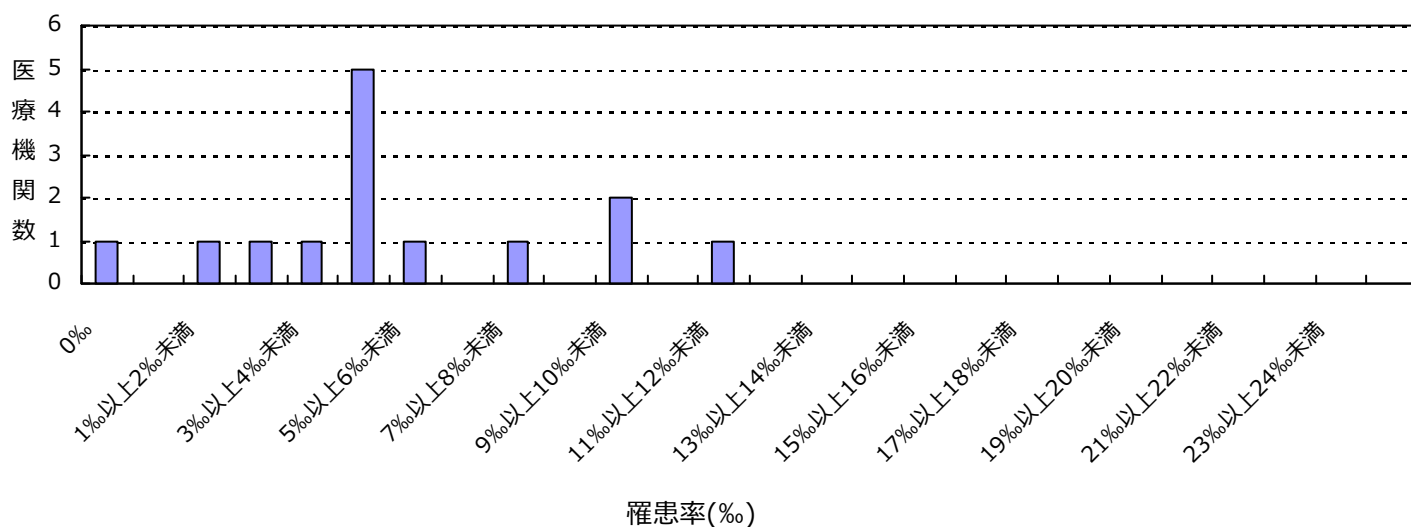


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	69,143	12	284	4.11%	0.00 4.32 11.75

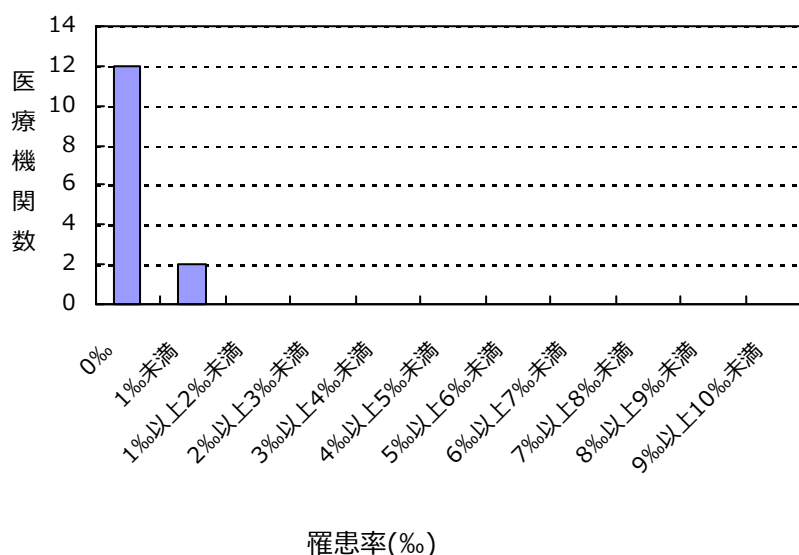
集計対象医療機関の罹患率(N=14)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	69,143	0	2	0.03%	0.00 0.00 0.17

集計対象医療機関の罹患率(N=14)



(大分県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

## 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

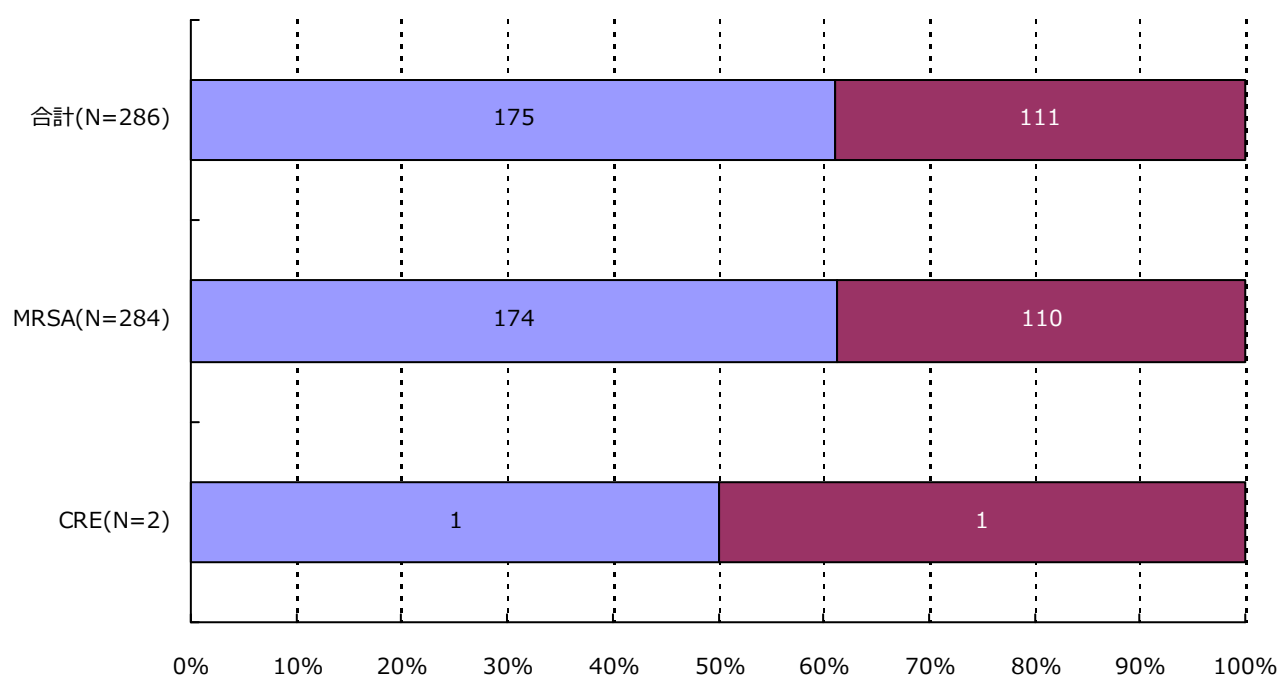
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	175 ( 61.2% )	174 ( 61.3% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 50.0% )
女	111 ( 38.8% )	110 ( 38.7% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 50.0% )
合計	286	284	0	0	0	0	0	2



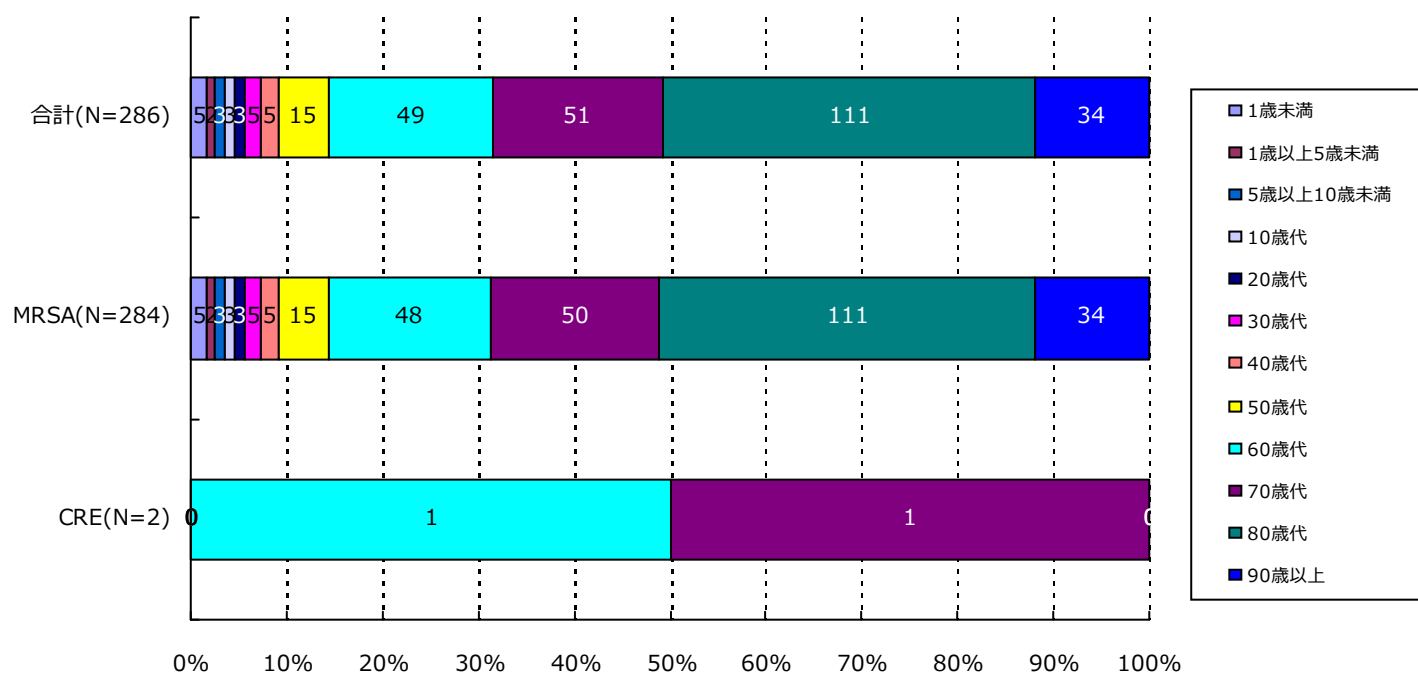
(大分県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

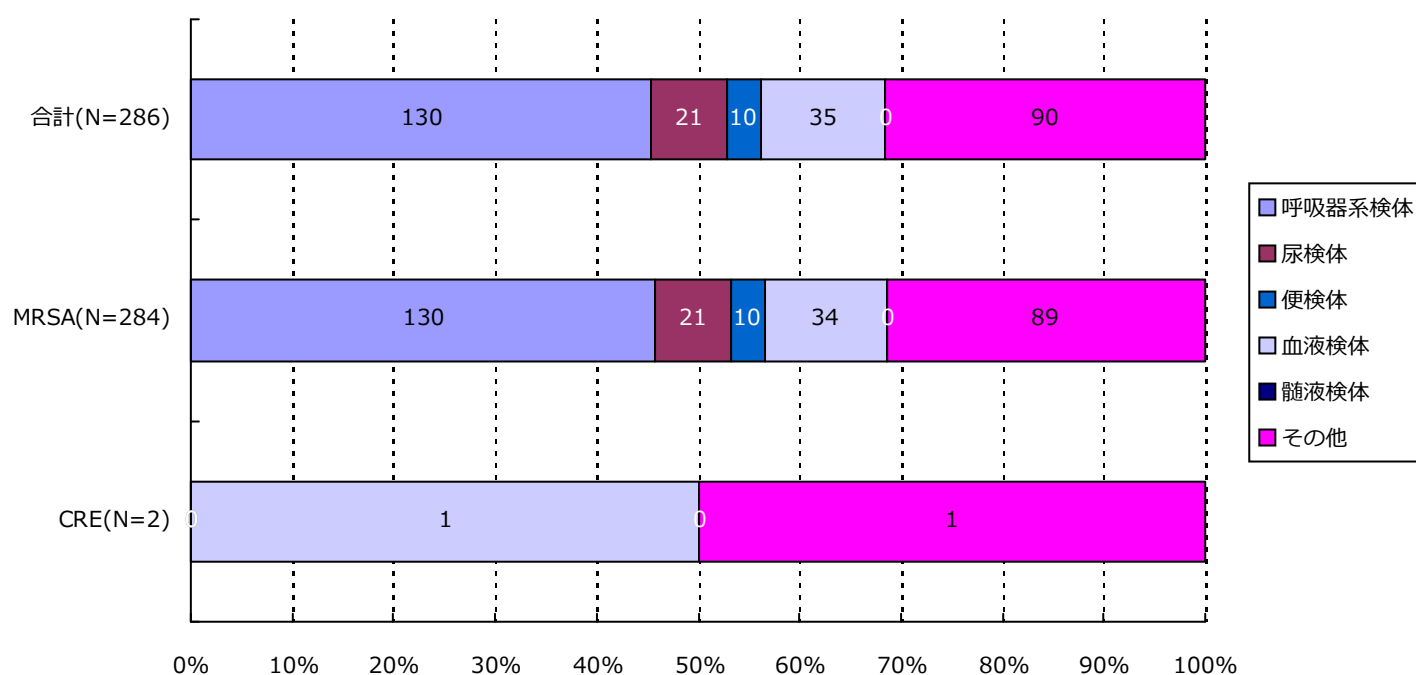


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	5( 1.7%)	5( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	2( 0.7%)	2( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	3( 1.0%)	3( 1.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	3( 1.0%)	3( 1.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	3( 1.0%)	3( 1.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	5( 1.7%)	5( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	5( 1.7%)	5( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	15( 5.2%)	15( 5.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	49( 17.1%)	48( 16.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)
70歳代	51( 17.8%)	50( 17.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)
80歳代	111( 38.8%)	111( 39.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
90歳以上	34( 11.9%)	34( 12.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	286	284	0	0	0	0	0	2

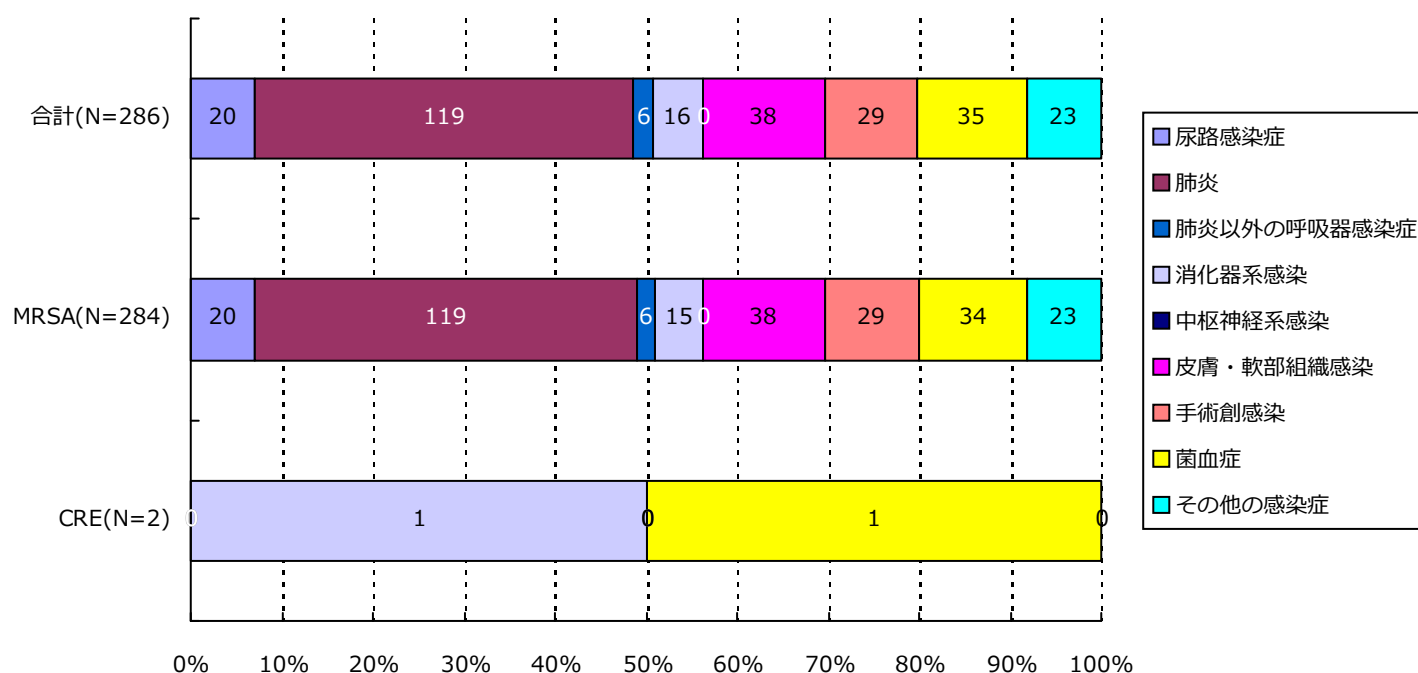
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	130( 45.5%)	130( 45.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
尿検体	21( 7.3%)	21( 7.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
便検体	10( 3.5%)	10( 3.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	35( 12.2%)	34( 12.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)
髄液検体	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	90( 31.5%)	89( 31.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)
合計	286	284	0	0	0	0	0	2

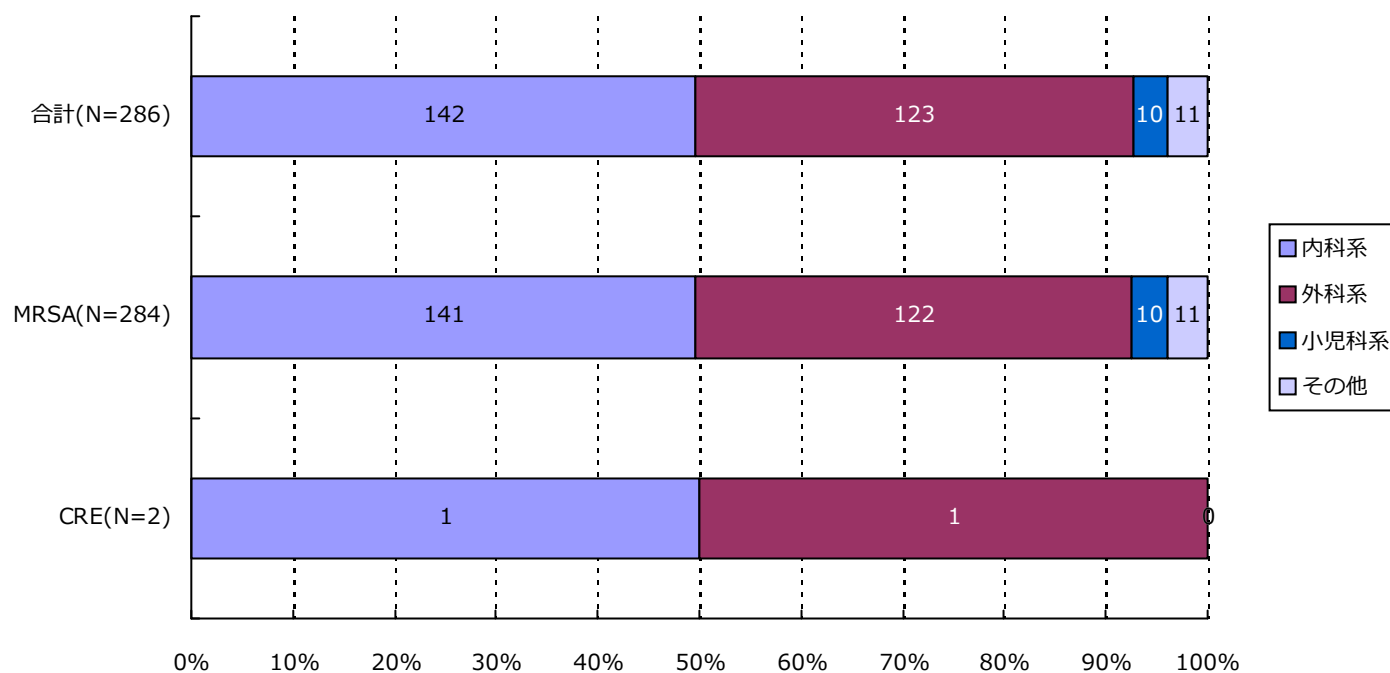
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	20( 7.0%)	20( 7.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎	119( 41.6%)	119( 41.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎以外	6( 2.1%)	6( 2.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	16( 5.6%)	15( 5.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)
中枢神経系	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	38( 13.3%)	38( 13.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	29( 10.1%)	29( 10.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	35( 12.2%)	34( 12.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)
その他	23( 8.0%)	23( 8.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	286	284	0	0	0	0	0	2

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	142( 49.7%)	141( 49.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)
外科系	123( 43.0%)	122( 43.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)
小児科系	10( 3.5%)	10( 3.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	11( 3.8%)	11( 3.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	286	284	0	0	0	0	0	2

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

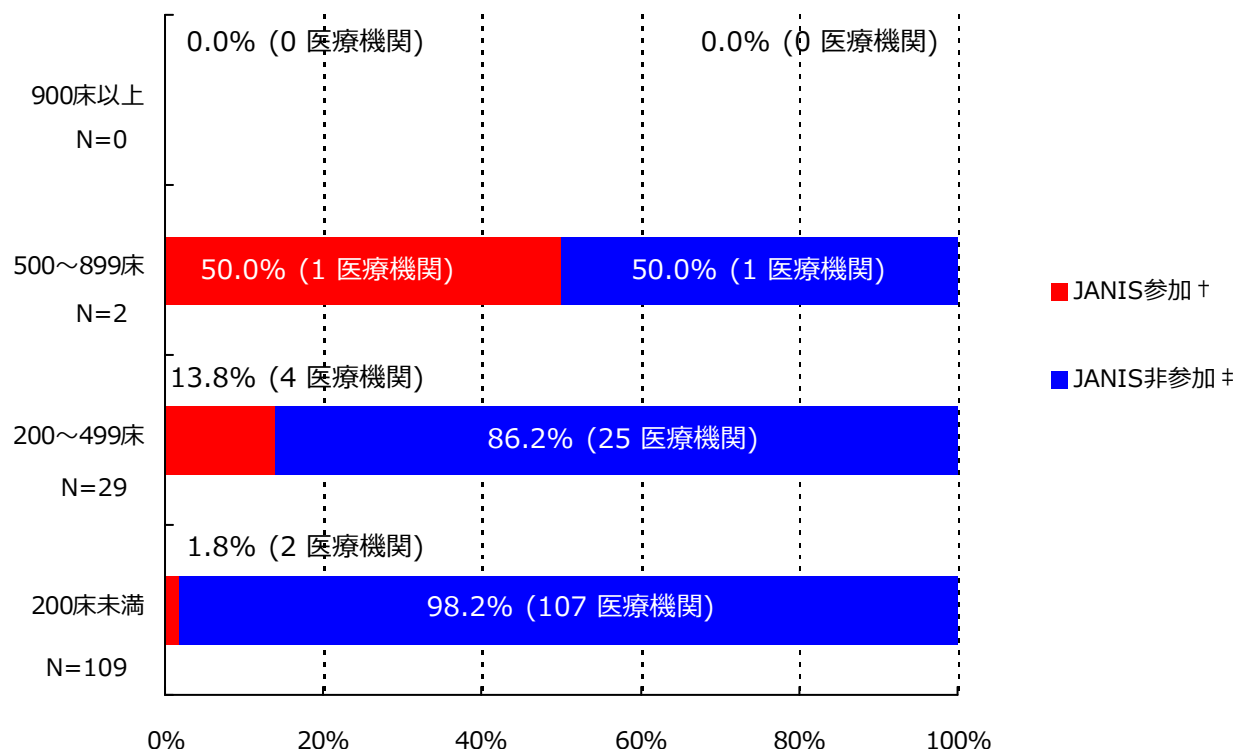
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(7医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	2	1 ( 50%)
200～499床	29	4 ( 13.8%)
200床未満	109	2 ( 1.8%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	140	7 ( 5%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(宮崎県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

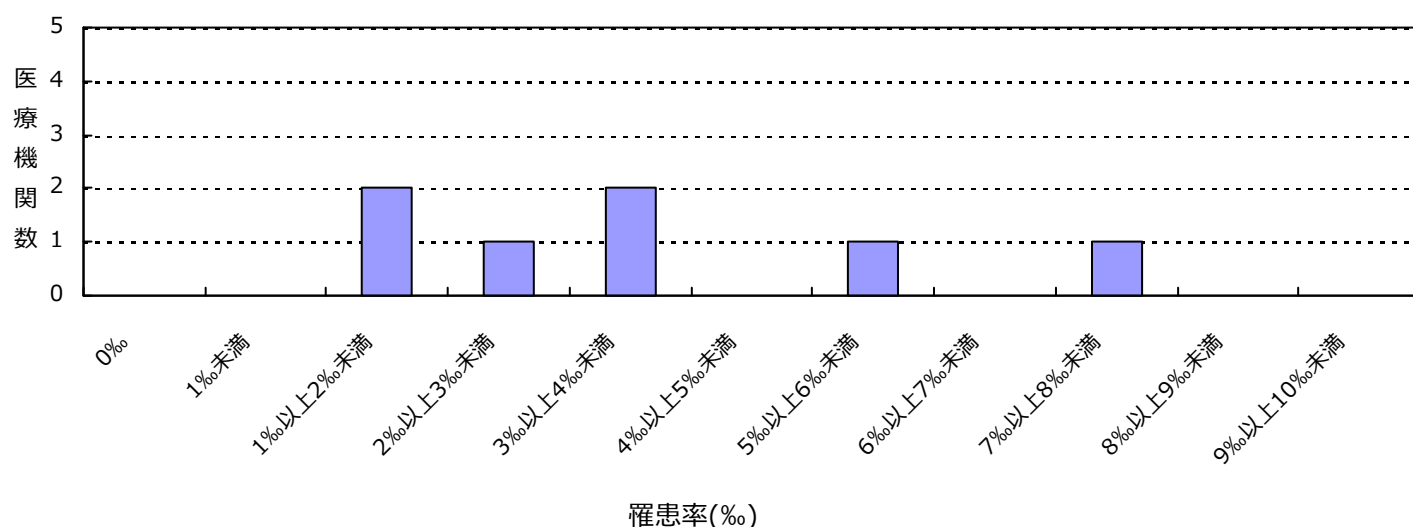


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	34,432	2	114	3.31%	1.49 3.24 7.50  ----- -----

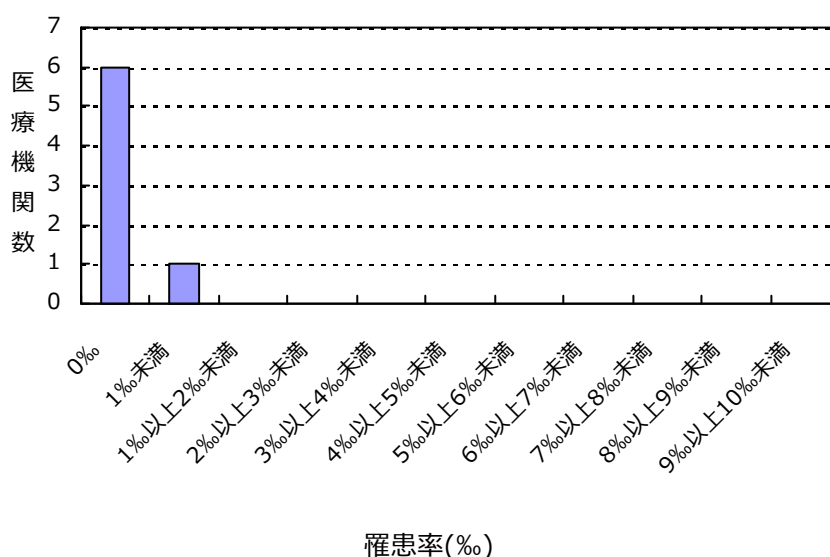
集計対象医療機関の罹患率(N=7)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	34,432	0	3	0.09%	0.00 0.00 0.27  ----- -----

集計対象医療機関の罹患率(N=7)





(宮崎県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

## 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

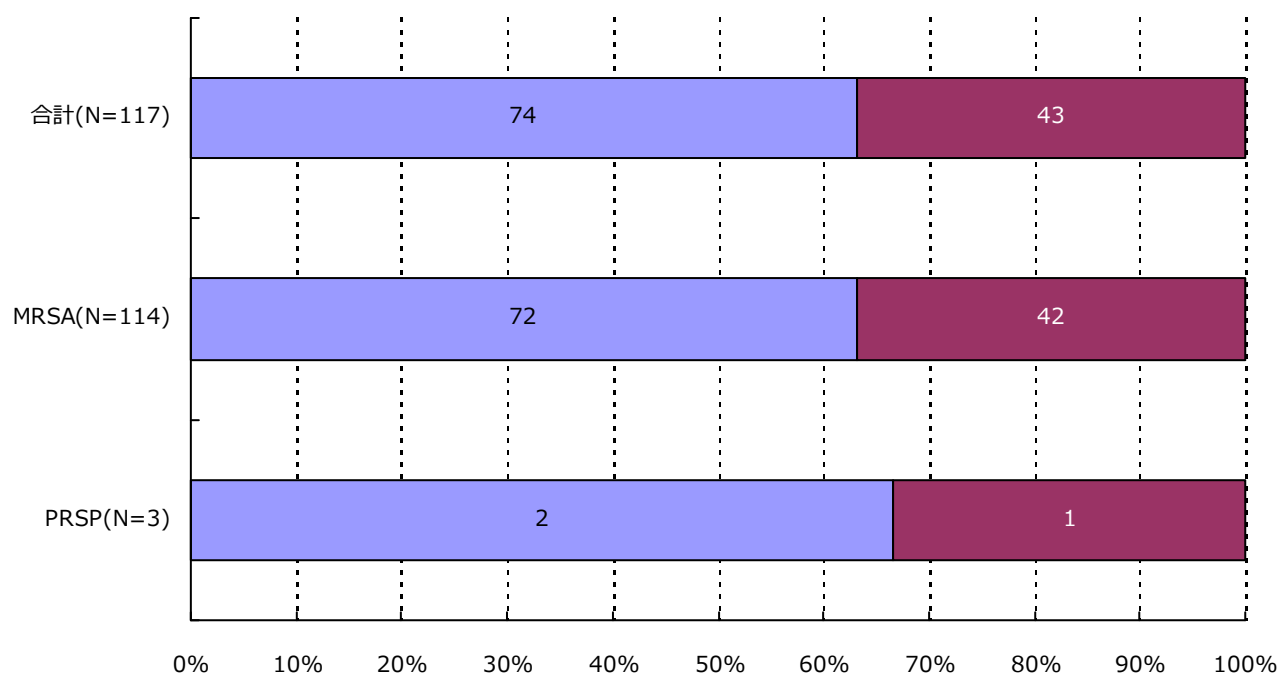
(宮崎県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	74 ( 63.2% )	72 ( 63.2% )	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 66.7% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
女	43 ( 36.8% )	42 ( 36.8% )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 33.3% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
合計	117	114	0	0	3	0	0	0

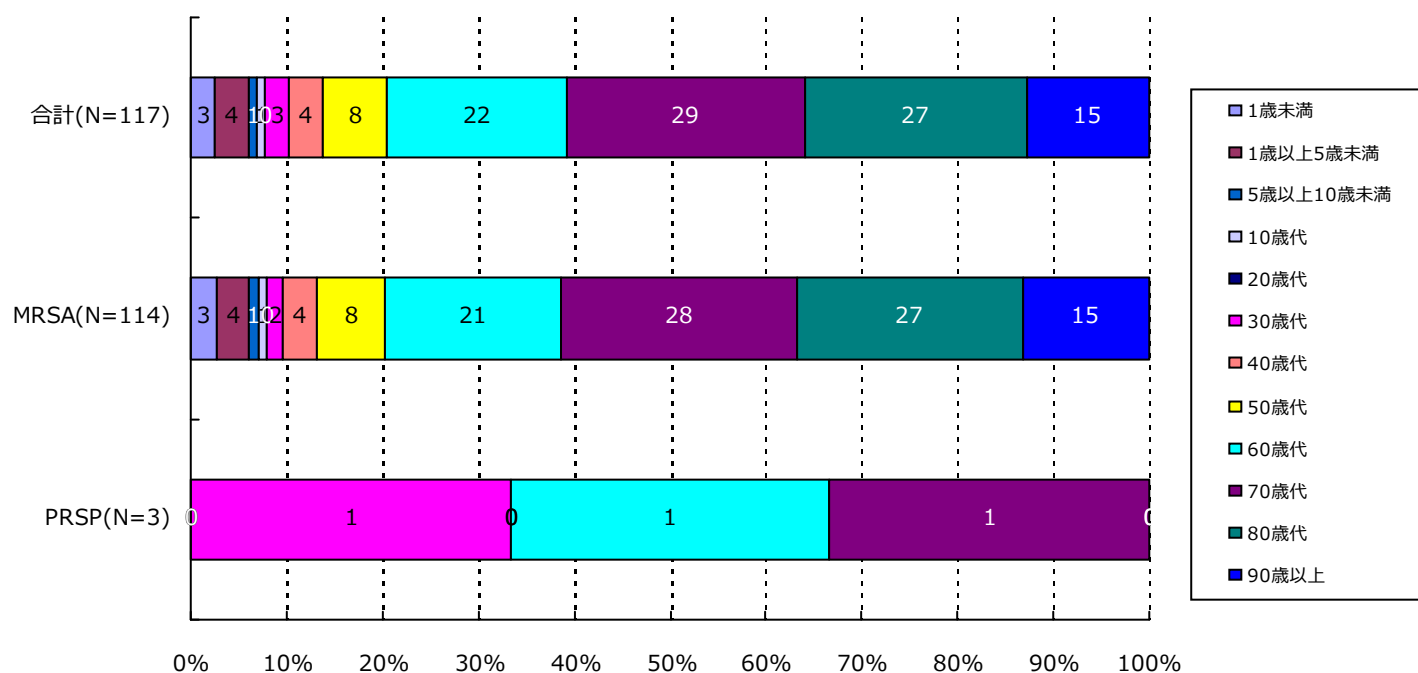
(宮崎県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

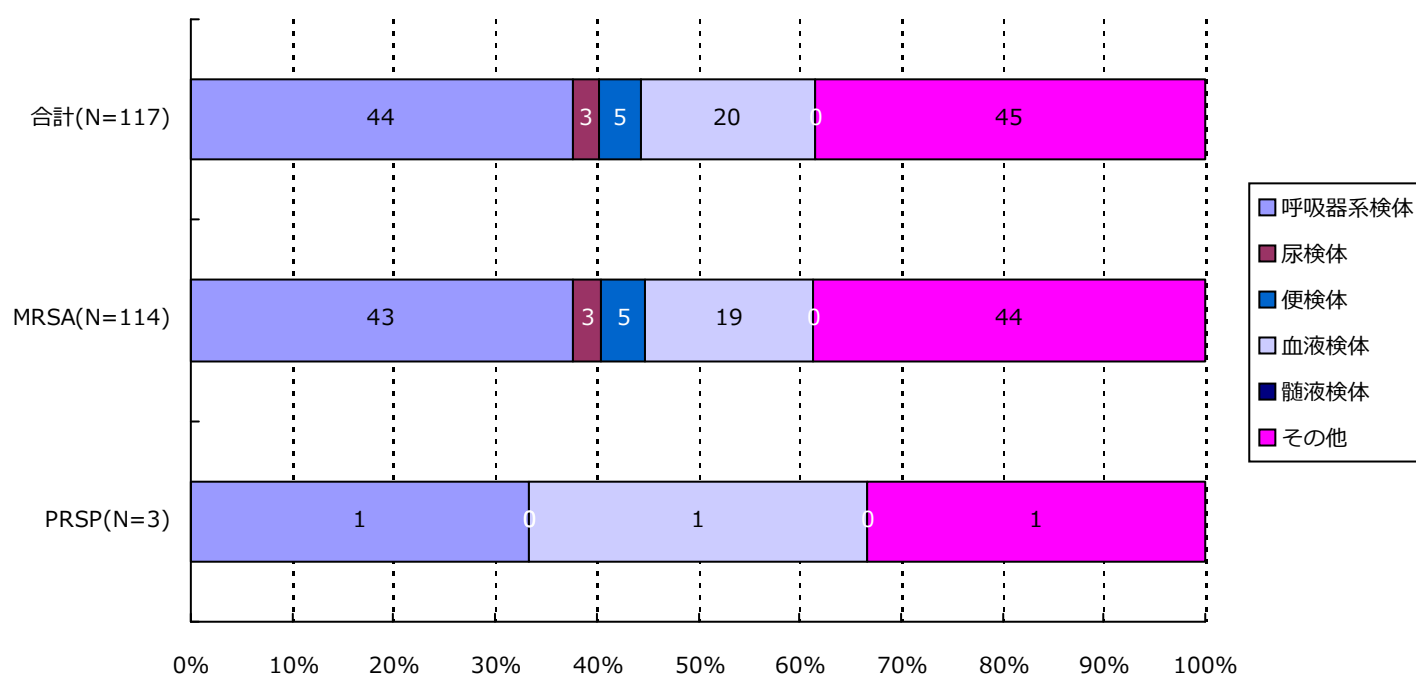


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3( 2.6%)	3( 2.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	4( 3.4%)	4( 3.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	1( 0.9%)	1( 0.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	1( 0.9%)	1( 0.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	3( 2.6%)	2( 1.8%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	4( 3.4%)	4( 3.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	8( 6.8%)	8( 7.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	22( 18.8%)	21( 18.4%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
70歳代	29( 24.8%)	28( 24.6%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
80歳代	27( 23.1%)	27( 23.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
90歳以上	15( 12.8%)	15( 13.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	117	114	0	0	3	0	0	0

## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	44( 37.6%)	43( 37.7%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
尿検体	3( 2.6%)	3( 2.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
便検体	5( 4.3%)	5( 4.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	20( 17.1%)	19( 16.7%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
髄液検体	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	45( 38.5%)	44( 38.6%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	117	114	0	0	3	0	0	0

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

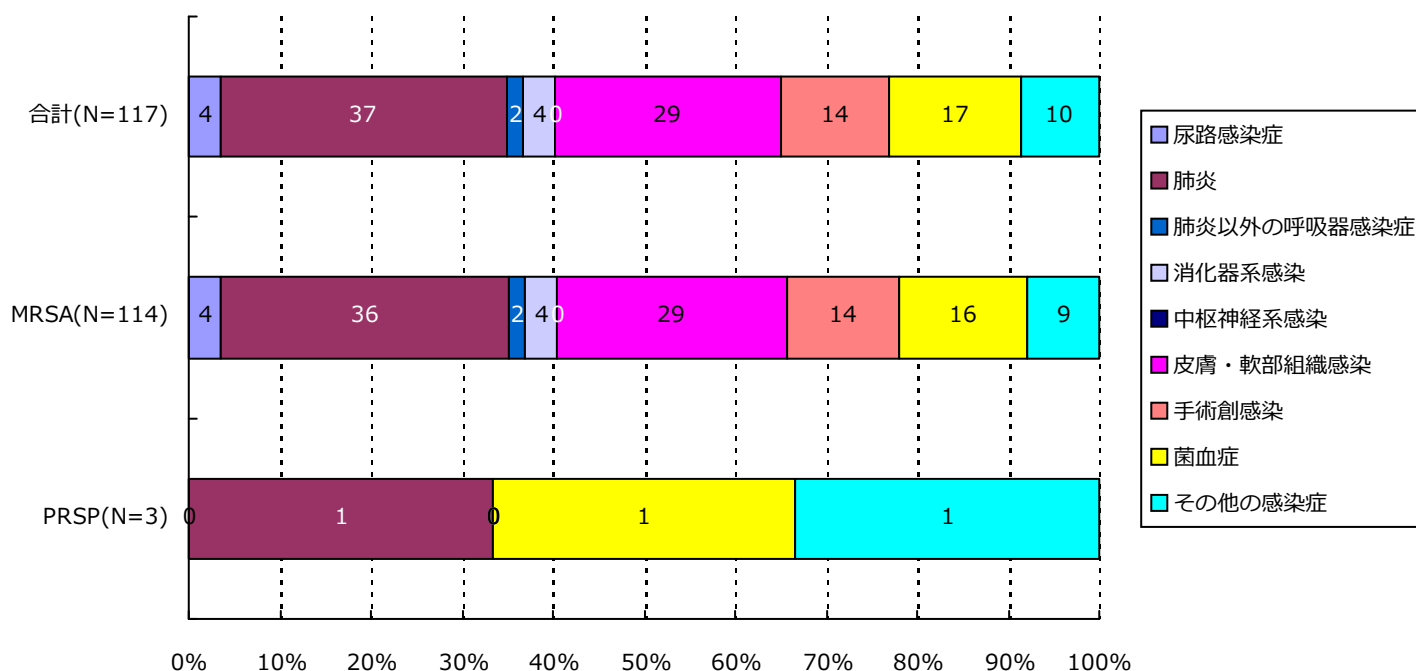
(宮崎県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

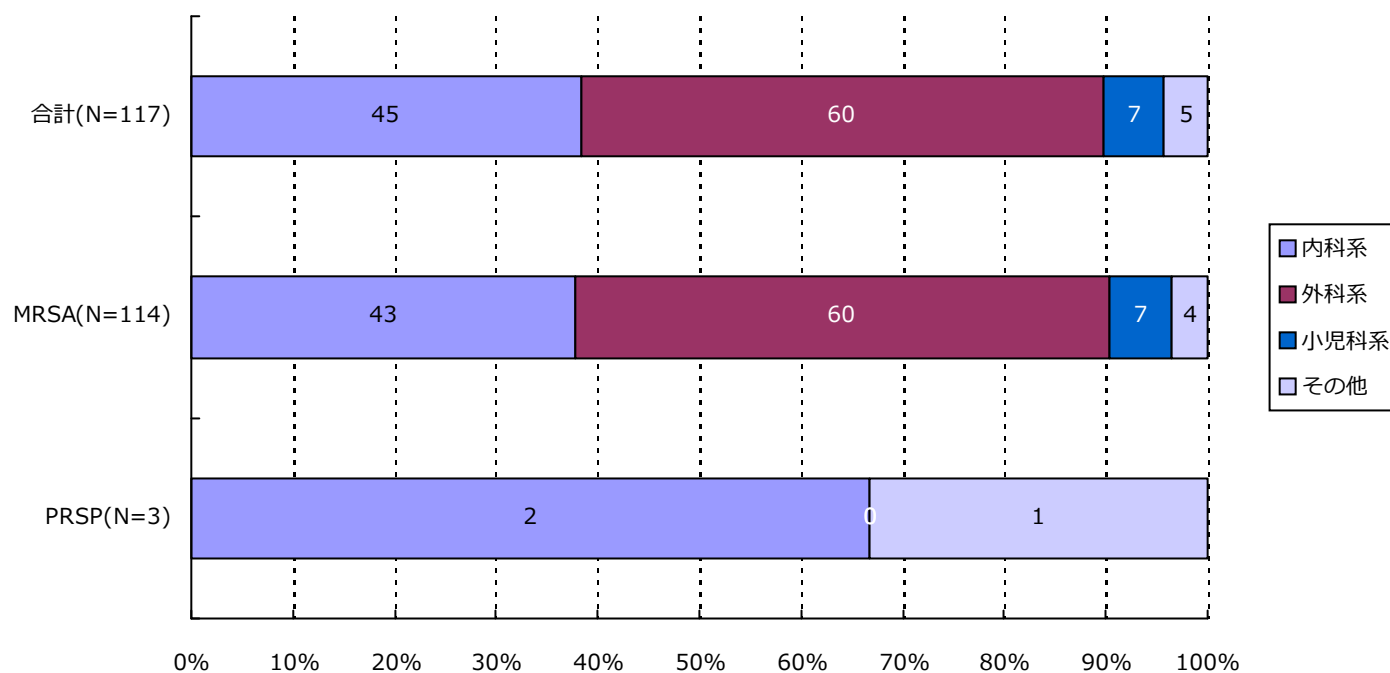


## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	4( 3.4%)	4( 3.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎	37( 31.6%)	36( 31.6%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎以外	2( 1.7%)	2( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	4( 3.4%)	4( 3.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
中枢神経系	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	29( 24.8%)	29( 25.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	14( 12.0%)	14( 12.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	17( 14.5%)	16( 14.0%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	10( 8.5%)	9( 7.9%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	117	114	0	0	3	0	0	0

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	45( 38.5%)	43( 37.7%)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
外科系	60( 51.3%)	60( 52.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
小児科系	7( 6.0%)	7( 6.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	5( 4.3%)	4( 3.5%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	117	114	0	0	3	0	0	0

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

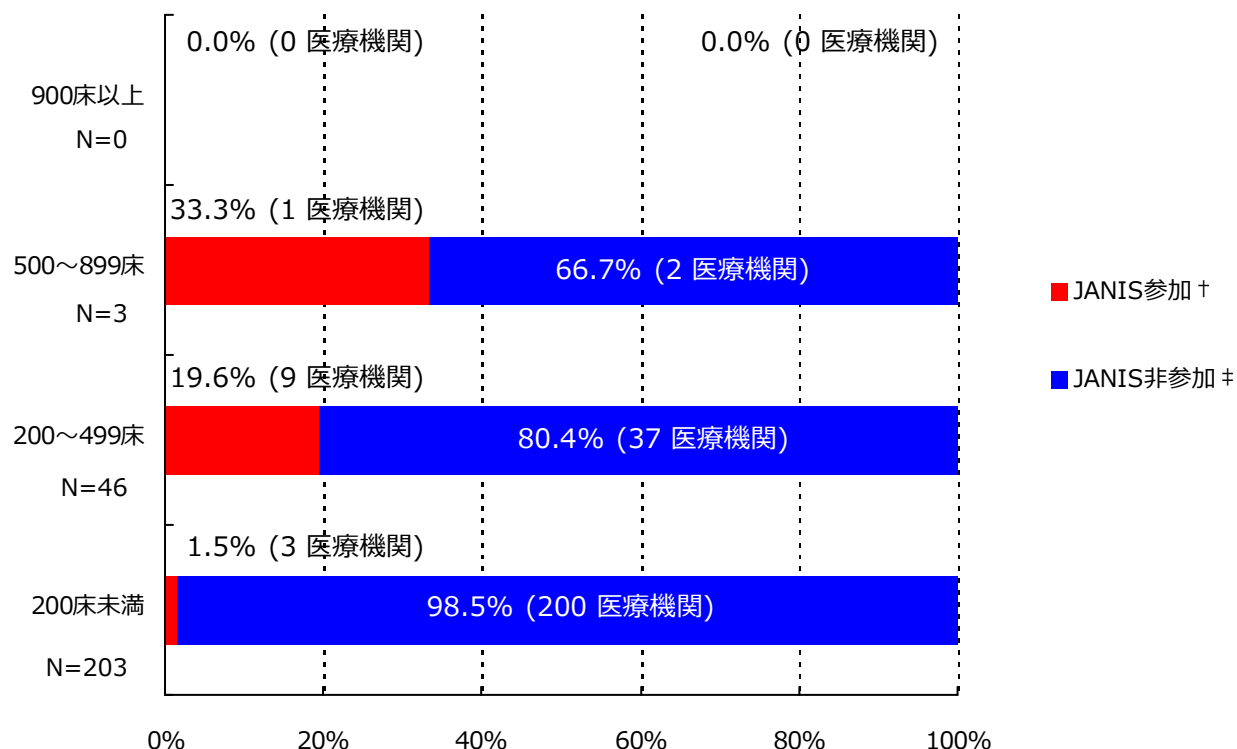
‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用



(鹿児島県)  
公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 1. データ提出医療機関\*数(13医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	3	1 ( 33.3%)
200～499床	46	9 ( 19.6%)
200床未満	203	3 ( 1.5%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	252	13 ( 5.2%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(鹿児島県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

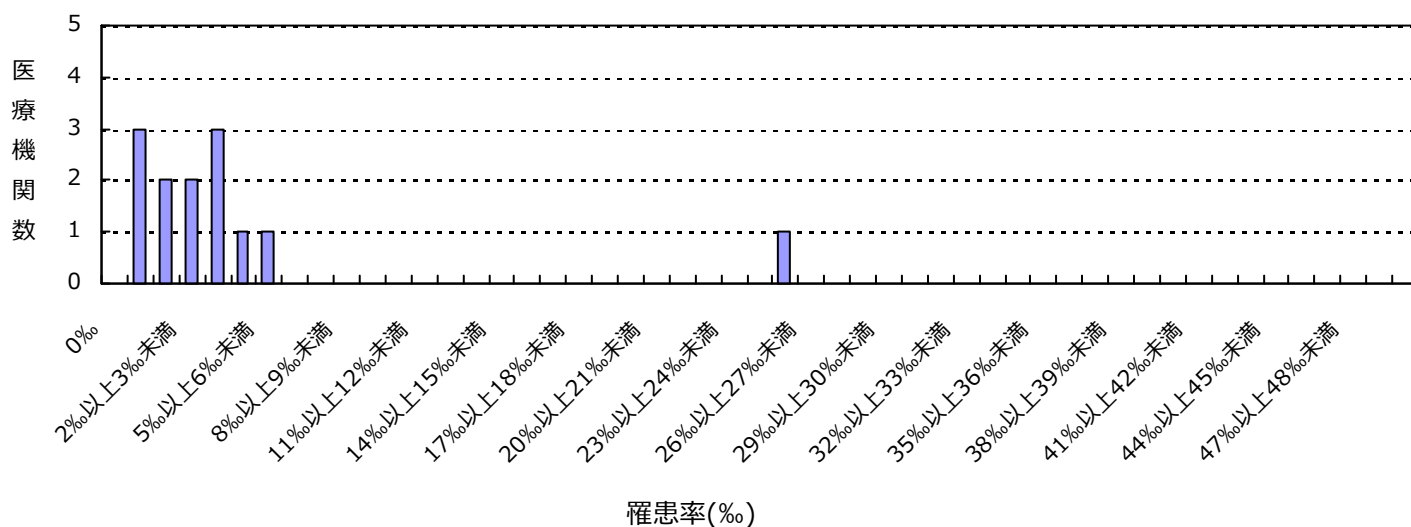


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	66,991	3	240	3.58%	0.32 2.32 25.94  ---

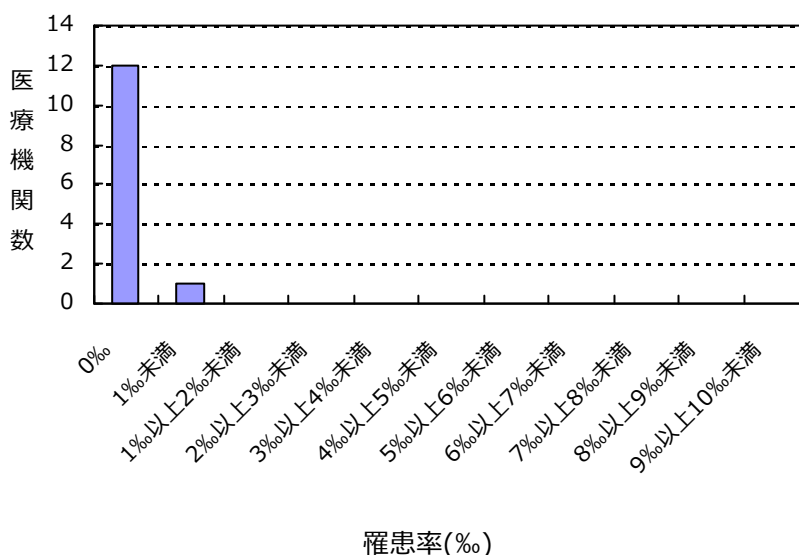
集計対象医療機関の罹患率(N=13)



### バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	66,991	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.18 

集計対象医療機関の罹患率(N=13)



(鹿児島県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

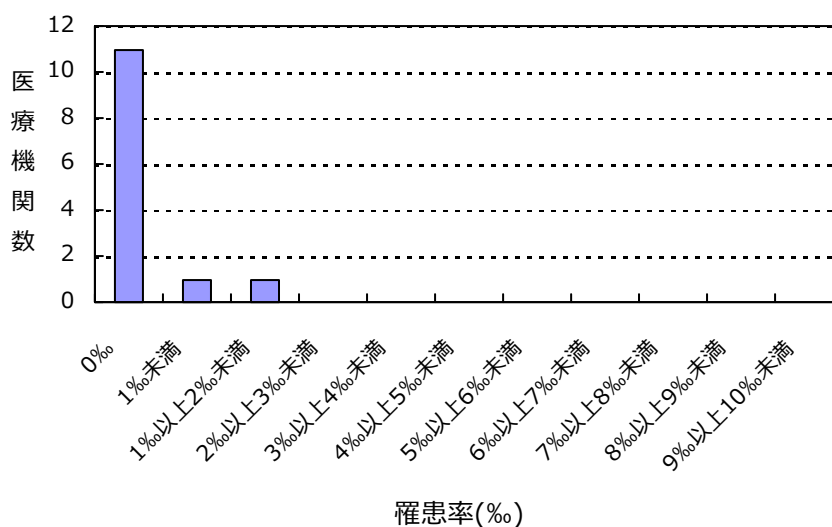


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	66,991	0	8	0.12‰	0.00 0.00 1.18

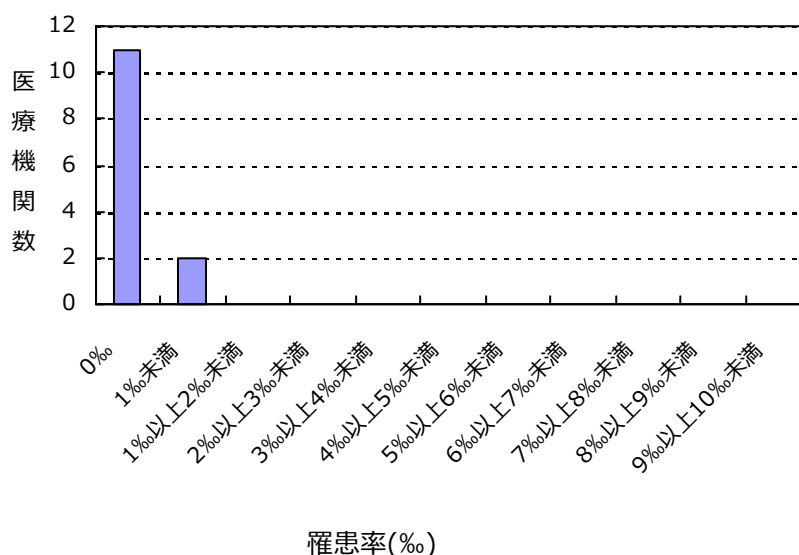
集計対象医療機関の罹患率(N=13)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	66,991	0	3	0.04‰	0.00 0.00 0.17

集計対象医療機関の罹患率(N=13)



(鹿児島県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

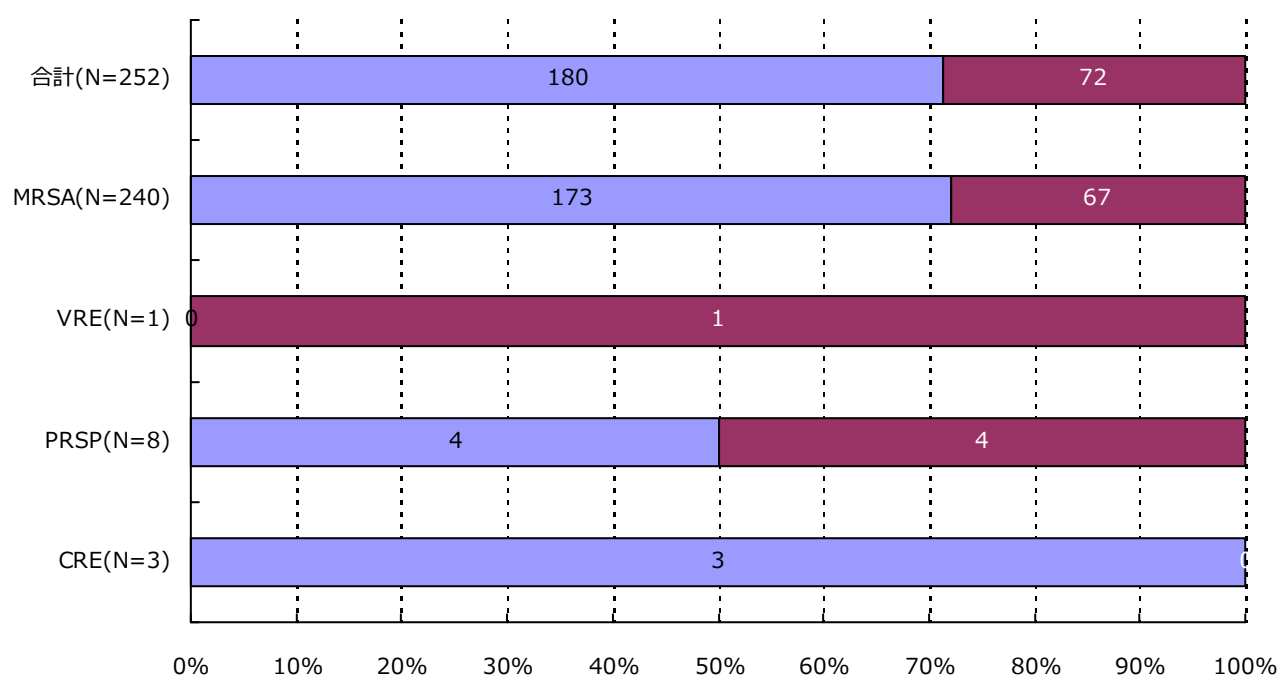
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

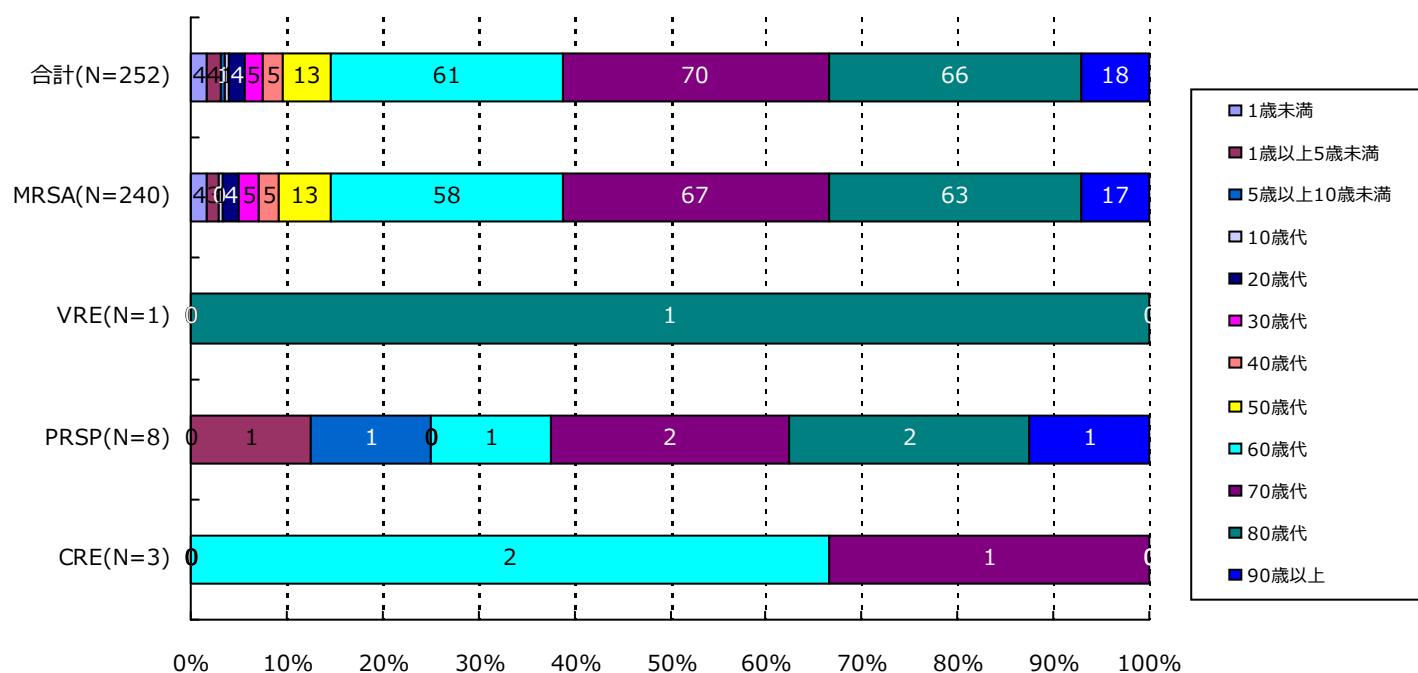
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

## 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



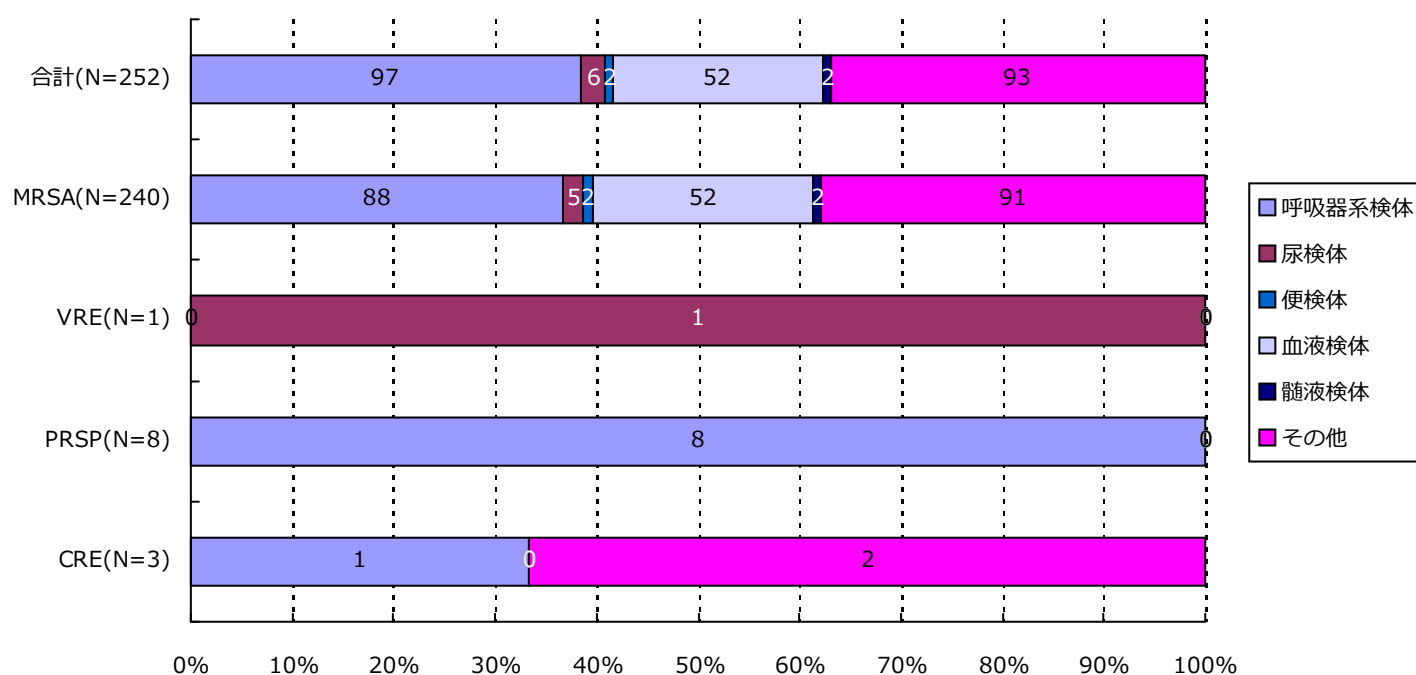
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	180 ( 71.4% )	173 ( 72.1% )	0 ( - )	0 ( - )	4 ( 50.0% )	0 ( - )	0 ( - )	3 ( 100.0% )
女	72 ( 28.6% )	67 ( 27.9% )	0 ( - )	1 ( 100.0% )	4 ( 50.0% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
合計	252	240	0	1	8	0	0	3

## 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4( 1.6%)	4( 1.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	4( 1.6%)	3( 1.3%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	1( 0.4%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	4( 1.6%)	4( 1.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	5( 2.0%)	5( 2.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	5( 2.0%)	5( 2.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	13( 5.2%)	13( 5.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	61( 24.2%)	58( 24.2%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)
70歳代	70( 27.8%)	67( 27.9%)	0( -)	0( -)	2( 25.0%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)
80歳代	66( 26.2%)	63( 26.3%)	0( -)	1( 100.0%)	2( 25.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
90歳以上	18( 7.1%)	17( 7.1%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	252	240	0	1	8	0	0	3

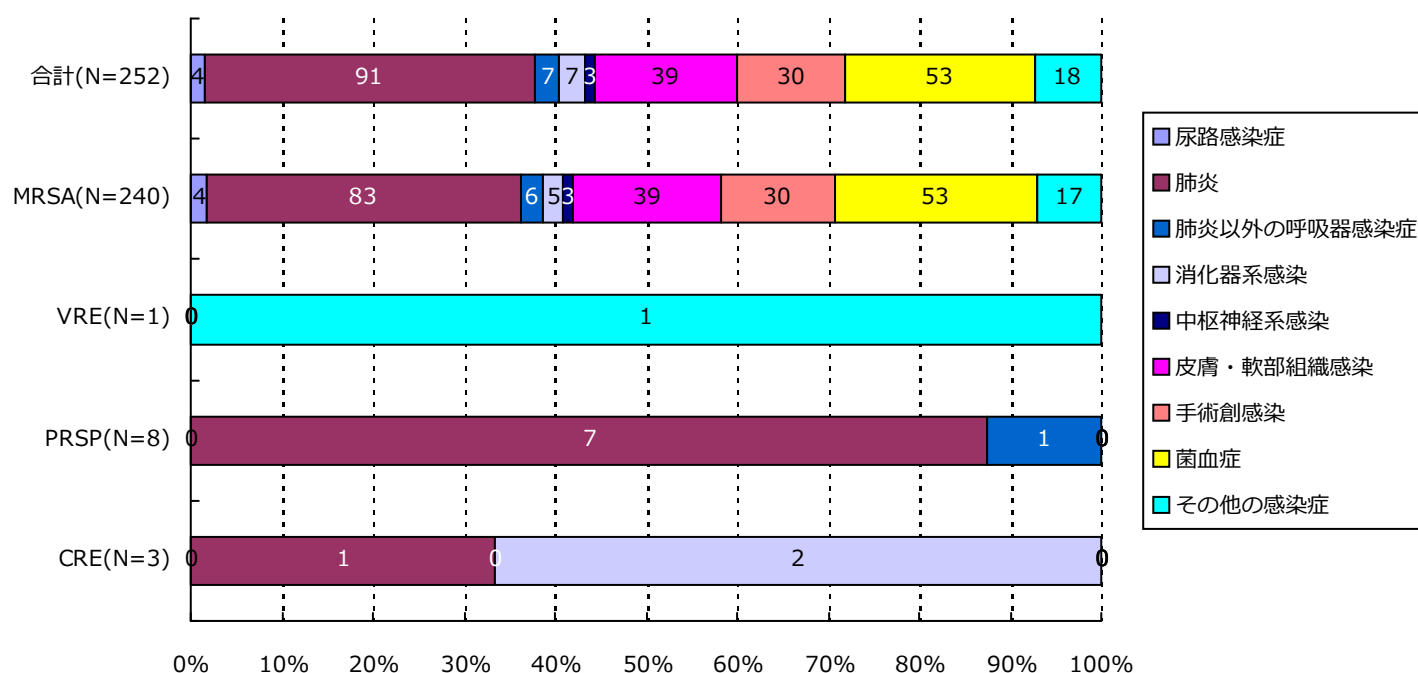
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	97( 38.5%)	88( 36.7%)	0( -)	0( -)	8( 100.0%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)
尿検体	6( 2.4%)	5( 2.1%)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
便検体	2( 0.8%)	2( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	52( 20.6%)	52( 21.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
髄液検体	2( 0.8%)	2( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	93( 36.9%)	91( 37.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)
合計	252	240	0	1	8	0	0	3

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

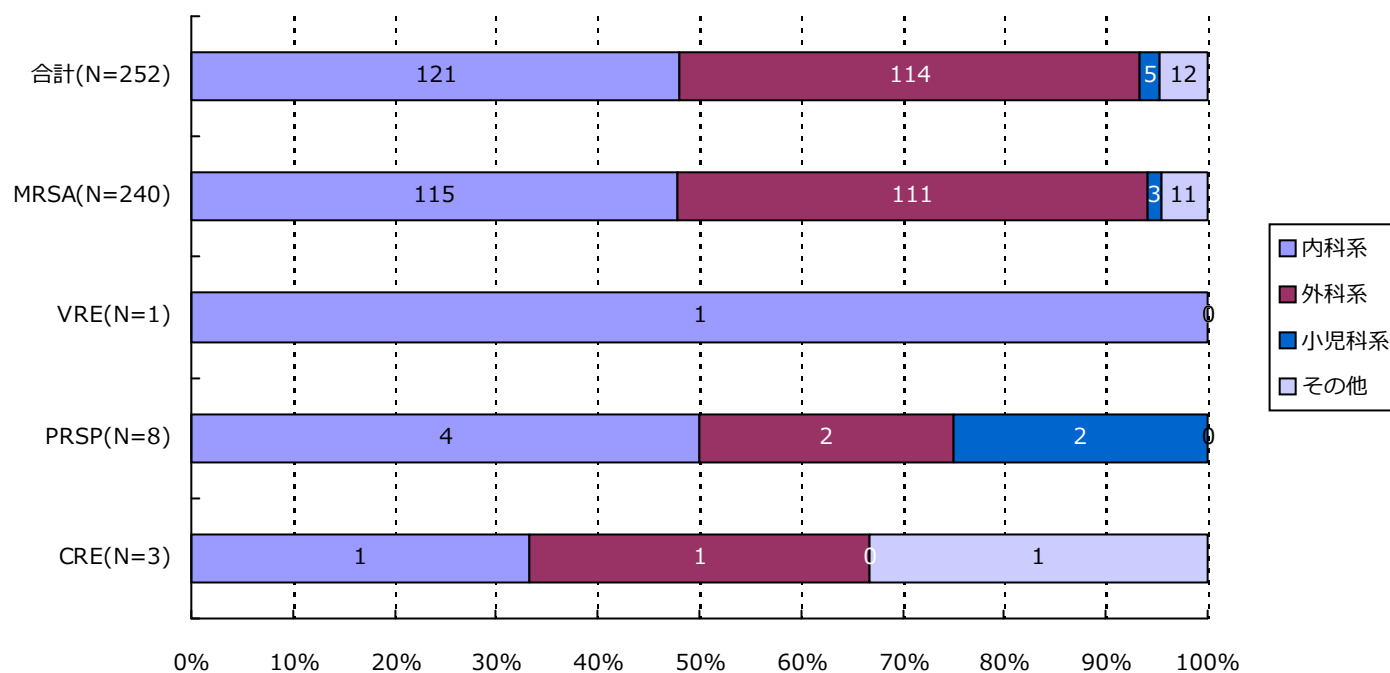
## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	4( 1.6%)	4( 1.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎	91( 36.1%)	83( 34.6%)	0( -)	0( -)	7( 87.5%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)
肺炎以外	7( 2.8%)	6( 2.5%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	7( 2.8%)	5( 2.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)
中枢神経系	3( 1.2%)	3( 1.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	39( 15.5%)	39( 16.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	30( 11.9%)	30( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	53( 21.0%)	53( 22.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	18( 7.1%)	17( 7.1%)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	252	240	0	1	8	0	0	3



## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	121( 48.0%)	115( 47.9%)	0( -)	1( 100.0%)	4( 50.0%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)
外科系	114( 45.2%)	111( 46.3%)	0( -)	0( -)	2( 25.0%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)
小児科系	5( 2.0%)	3( 1.3%)	0( -)	0( -)	2( 25.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	12( 4.8%)	11( 4.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)
合計	252	240	0	1	8	0	0	3

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

## ・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

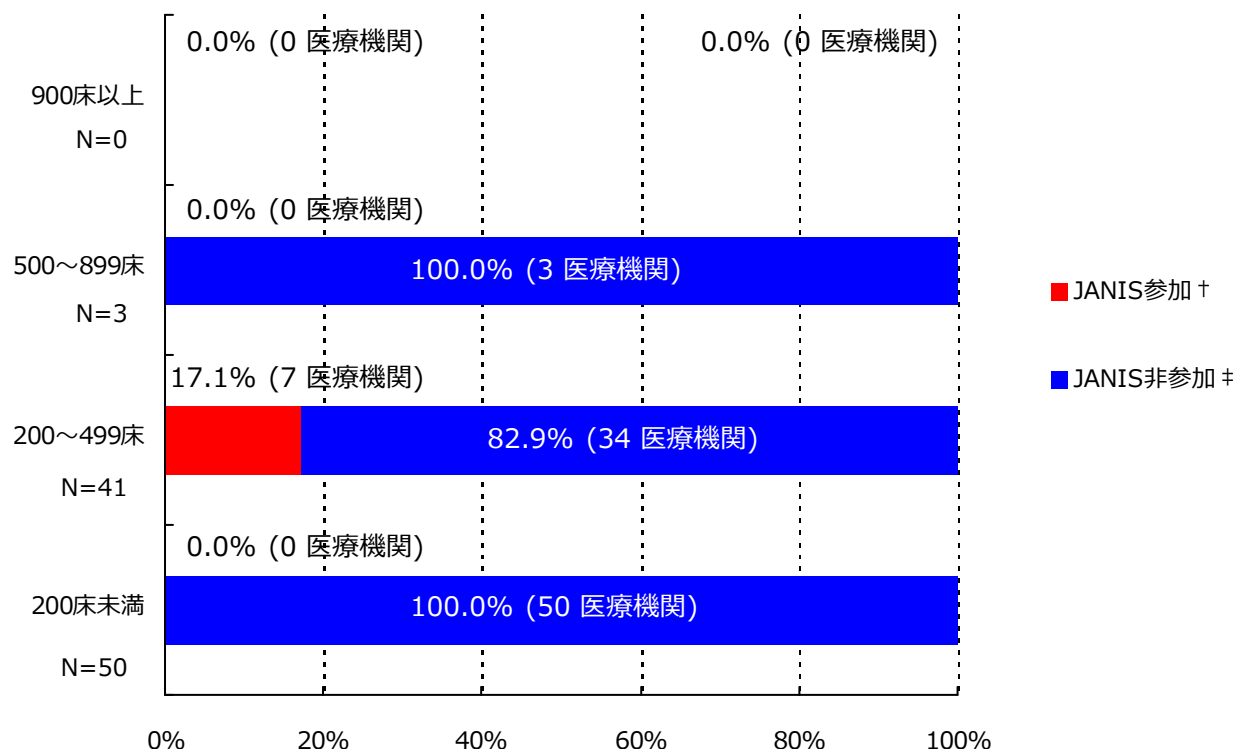
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(7医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	3	0 ( 0%)
200～499床	41	7 ( 17.1%)
200床未満	50	0 ( 0%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	94	7 ( 7.4%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(沖縄県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

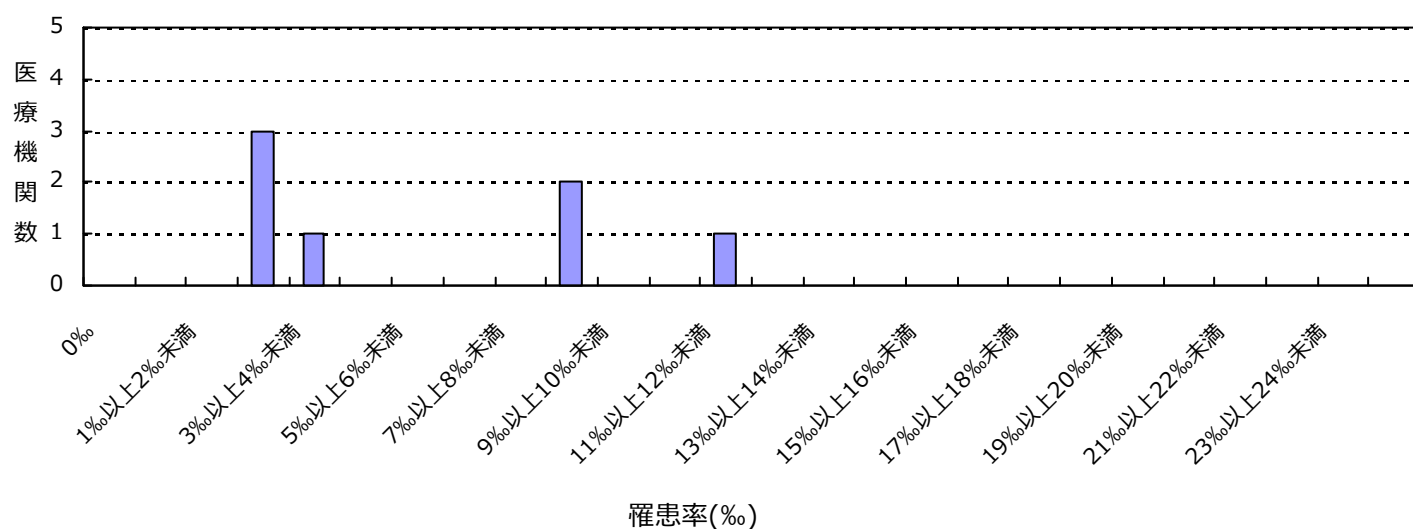


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MRSA	58,890	5	282	4.79‰	2.43 3.61 11.14

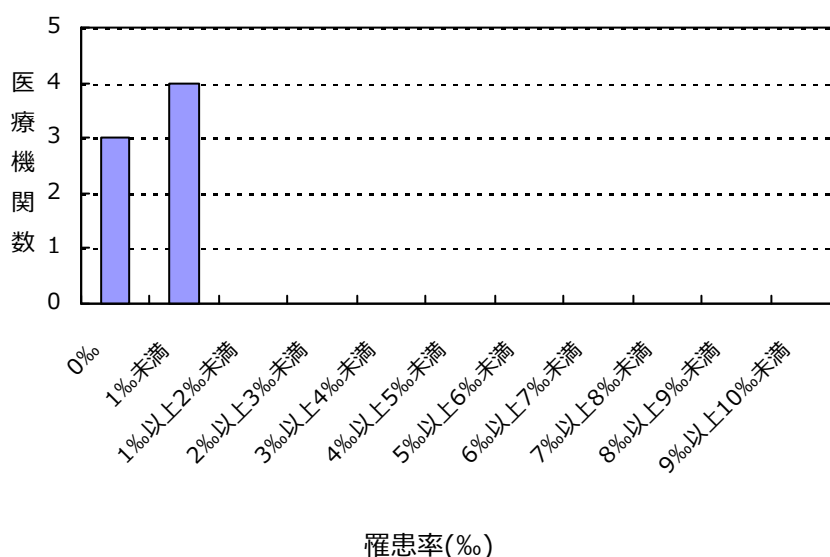
集計対象医療機関の罹患率(N=7)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	58,890	0	22	0.37‰	0.00 0.49 0.95

集計対象医療機関の罹患率(N=7)



(沖縄県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

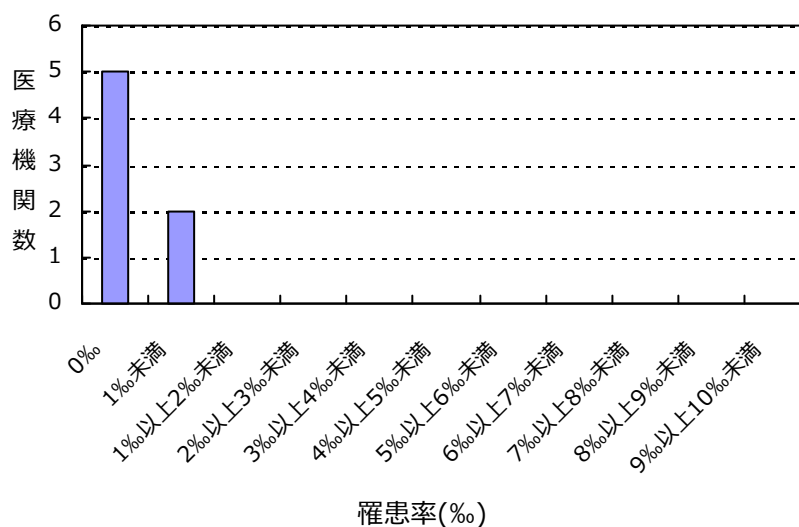


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	58,890	1	6	0.10‰	0.00 0.00 0.78

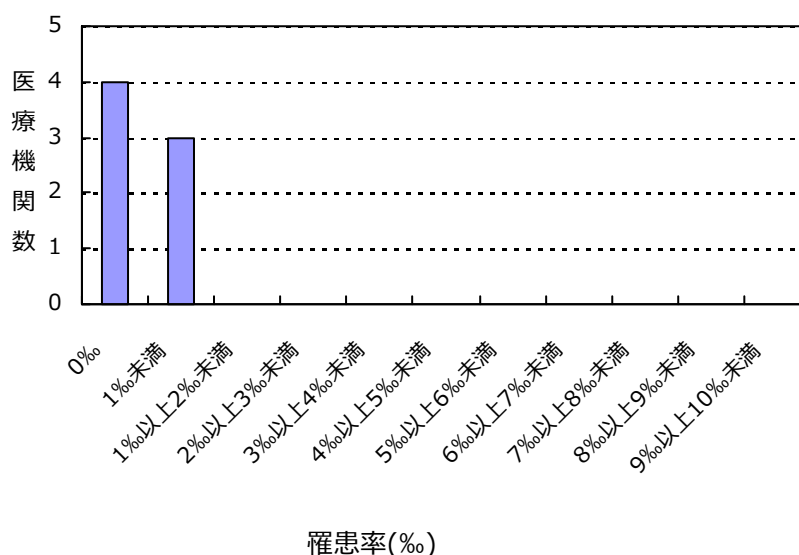
集計対象医療機関の罹患率(N=7)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	58,890	0	4	0.07‰	0.00 0.00 0.24

集計対象医療機関の罹患率(N=7)



(沖縄県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

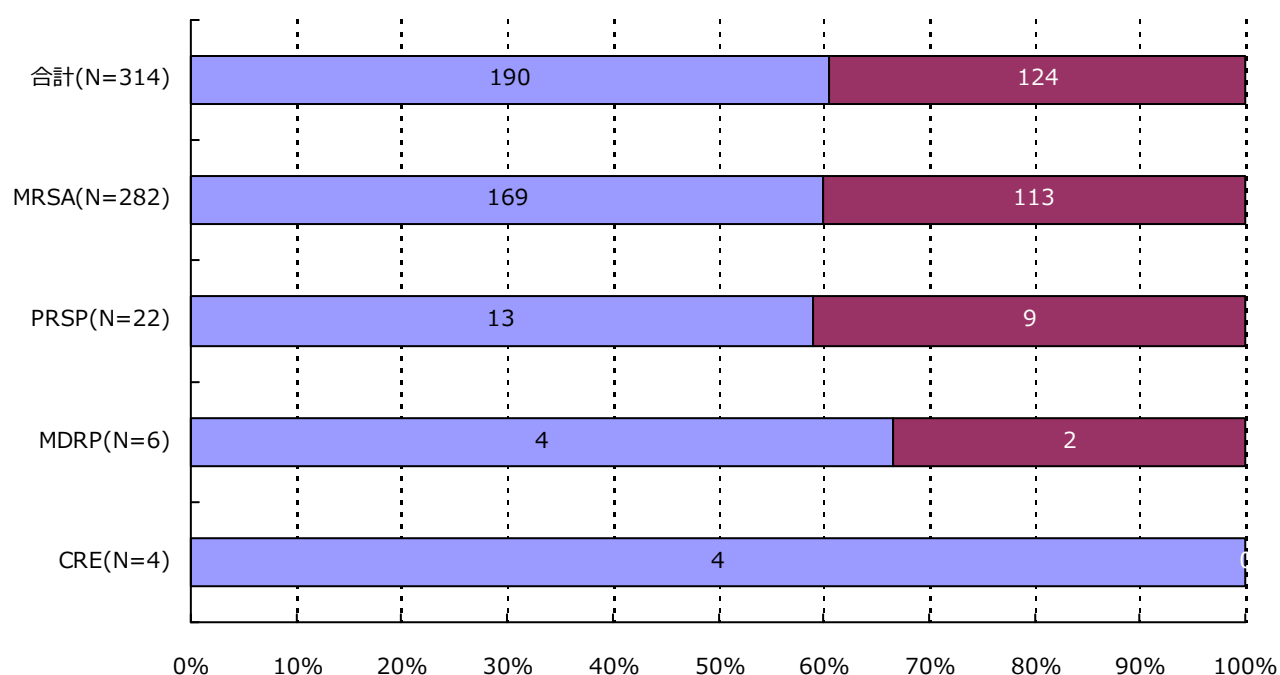
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	190 ( 60.5% )	169 ( 59.9% )	0 ( - )	0 ( - )	13 ( 59.1% )	4 ( 66.7% )	0 ( - )	4 ( 100.0% )
女	124 ( 39.5% )	113 ( 40.1% )	0 ( - )	0 ( - )	9 ( 40.9% )	2 ( 33.3% )	0 ( - )	0 ( - )
合計	314	282	0	0	22	6	0	4



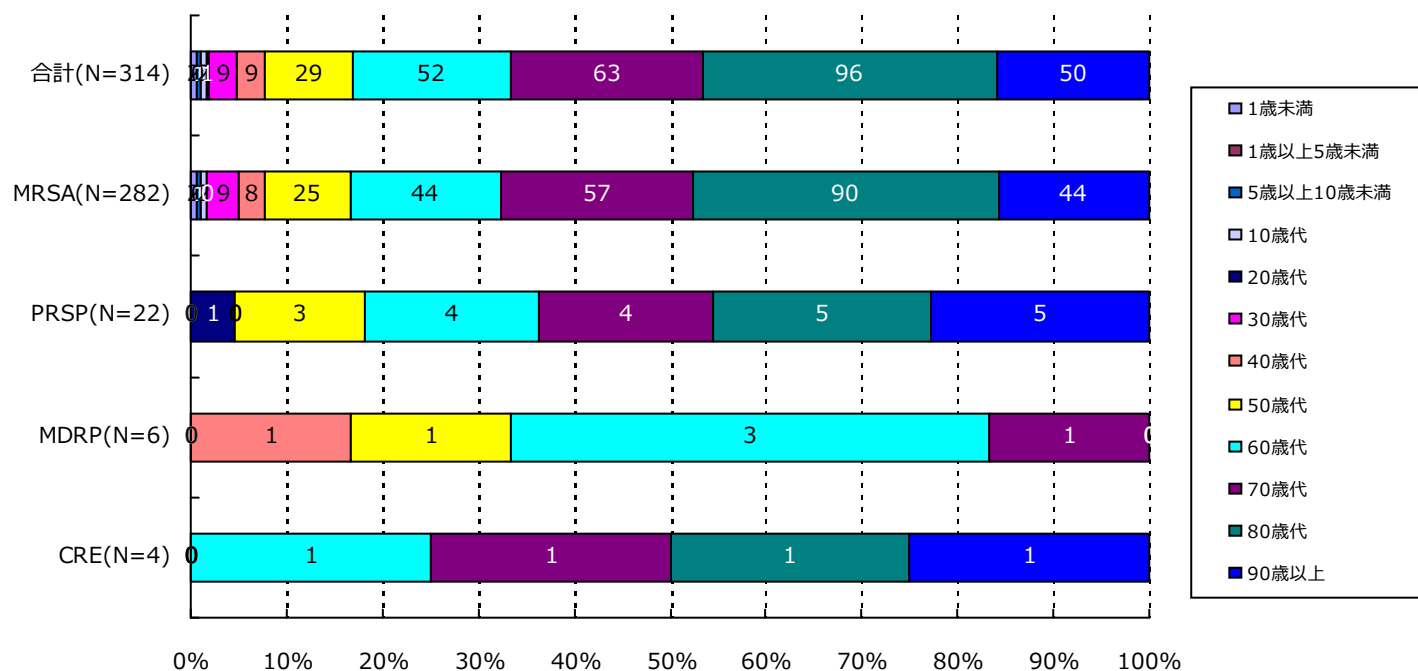
(沖縄県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

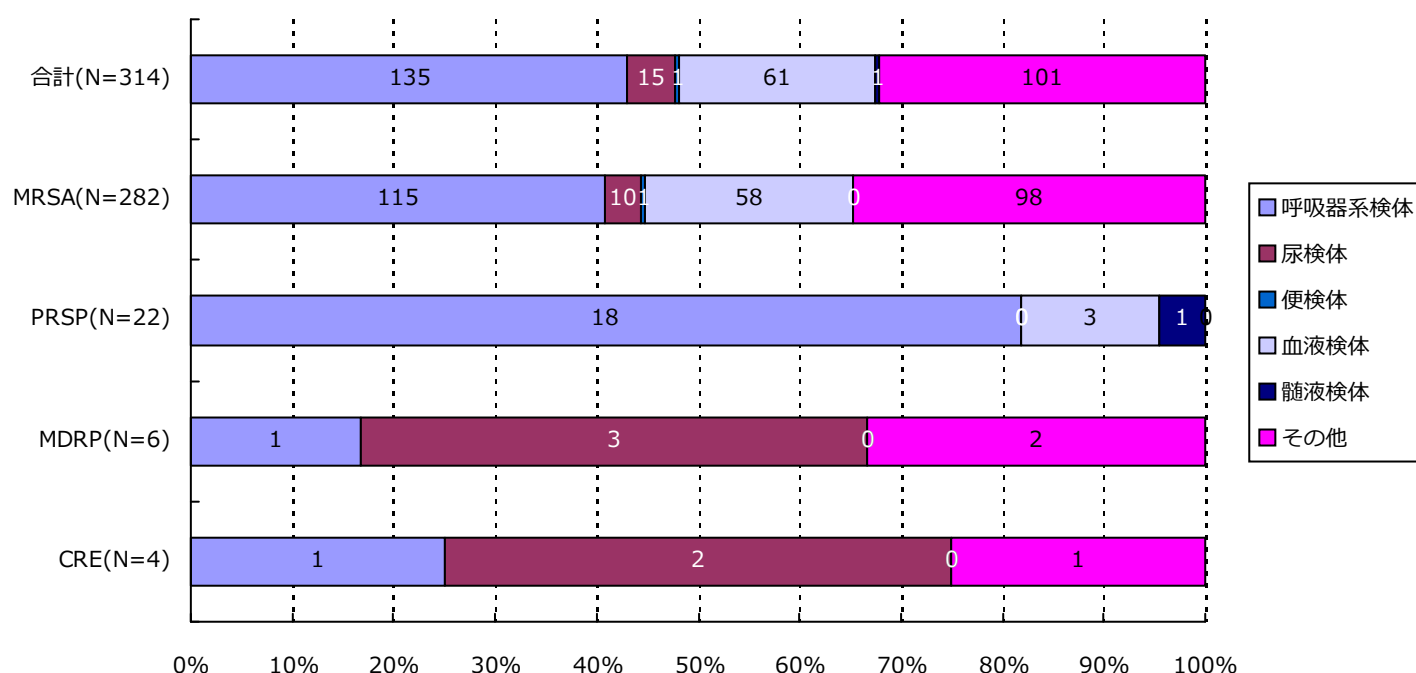


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2( 0.6%)	2( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	1( 0.3%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	2( 0.6%)	2( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	1( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 4.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	9( 2.9%)	9( 3.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	9( 2.9%)	8( 2.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 16.7%)	0( -)	0( -)
50歳代	29( 9.2%)	25( 8.9%)	0( -)	0( -)	3( 13.6%)	1( 16.7%)	0( -)	0( -)
60歳代	52( 16.6%)	44( 15.6%)	0( -)	0( -)	4( 18.2%)	3( 50.0%)	0( -)	1( 25.0%)
70歳代	63( 20.1%)	57( 20.2%)	0( -)	0( -)	4( 18.2%)	1( 16.7%)	0( -)	1( 25.0%)
80歳代	96( 30.6%)	90( 31.9%)	0( -)	0( -)	5( 22.7%)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
90歳以上	50( 15.9%)	44( 15.6%)	0( -)	0( -)	5( 22.7%)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
合計	314	282	0	0	22	6	0	4

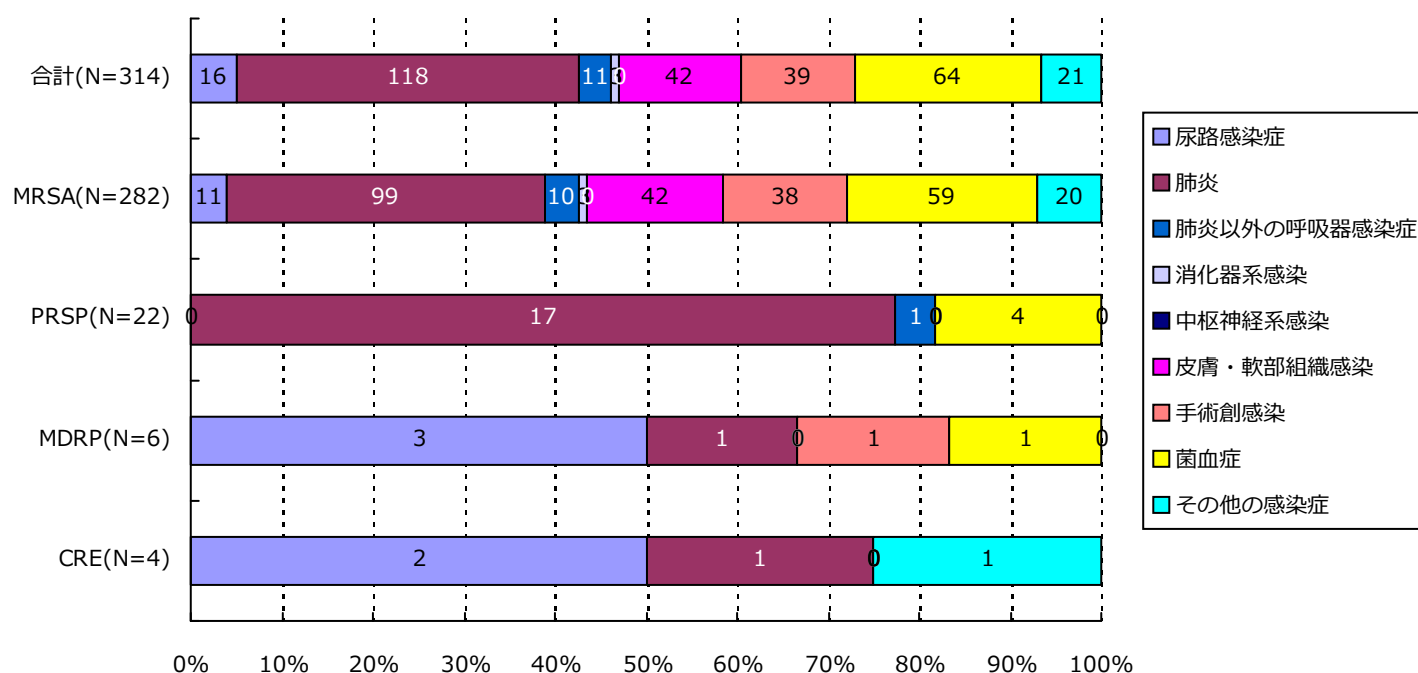
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	135( 43.0%)	115( 40.8%)	0( -)	0( -)	18( 81.8%)	1( 16.7%)	0( -)	1( 25.0%)
尿検体	15( 4.8%)	10( 3.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 50.0%)	0( -)	2( 50.0%)
便検体	1( 0.3%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	61( 19.4%)	58( 20.6%)	0( -)	0( -)	3( 13.6%)	0( -)	0( -)	0( -)
髄液検体	1( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 4.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	101( 32.2%)	98( 34.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 33.3%)	0( -)	1( 25.0%)
合計	314	282	0	0	22	6	0	4

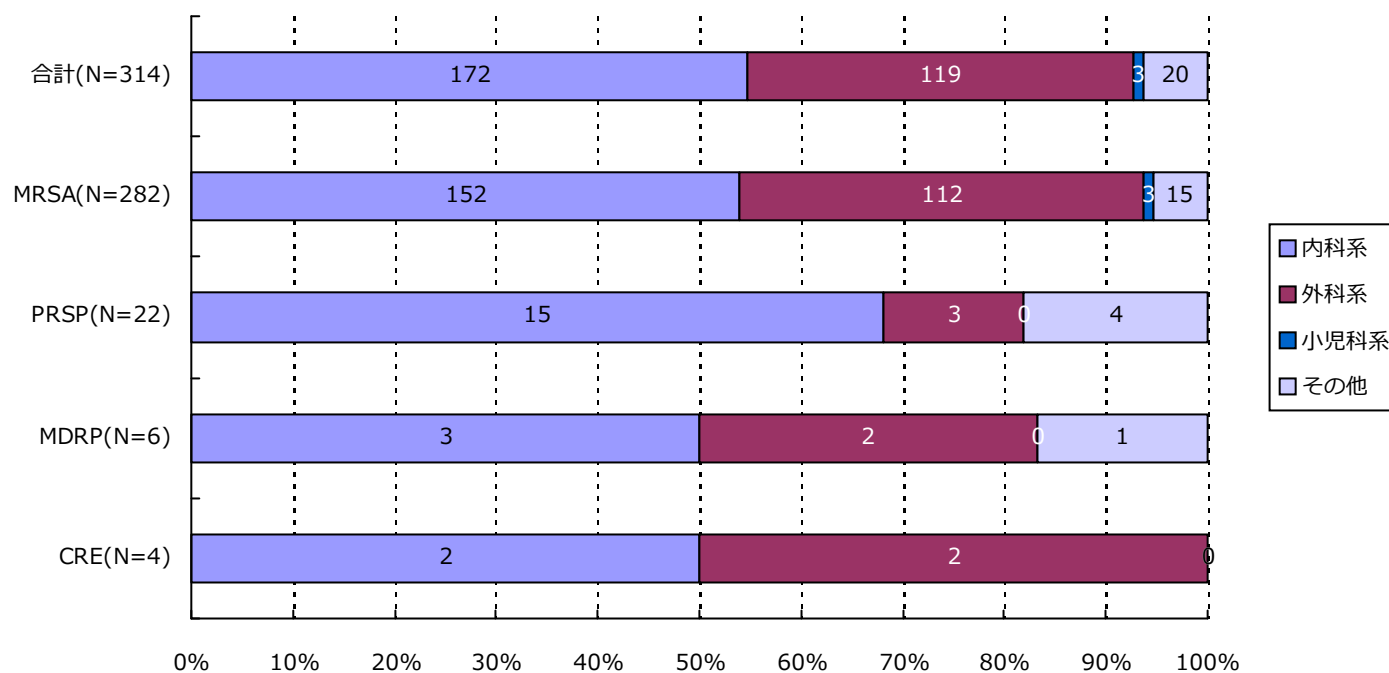
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	16( 5.1%)	11( 3.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 50.0%)	0( -)	2( 50.0%)
肺炎	118( 37.6%)	99( 35.1%)	0( -)	0( -)	17( 77.3%)	1( 16.7%)	0( -)	1( 25.0%)
肺炎以外	11( 3.5%)	10( 3.5%)	0( -)	0( -)	1( 4.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	3( 1.0%)	3( 1.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
中枢神経系	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	42( 13.4%)	42( 14.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	39( 12.4%)	38( 13.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 16.7%)	0( -)	0( -)
菌血症	64( 20.4%)	59( 20.9%)	0( -)	0( -)	4( 18.2%)	1( 16.7%)	0( -)	0( -)
その他	21( 6.7%)	20( 7.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
合計	314	282	0	0	22	6	0	4

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	172( 54.8%)	152( 53.9%)	0( -)	0( -)	15( 68.2%)	3( 50.0%)	0( -)	2( 50.0%)
外科系	119( 37.9%)	112( 39.7%)	0( -)	0( -)	3( 13.6%)	2( 33.3%)	0( -)	2( 50.0%)
小児科系	3( 1.0%)	3( 1.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	20( 6.4%)	15( 5.3%)	0( -)	0( -)	4( 18.2%)	1( 16.7%)	0( -)	0( -)
合計	314	282	0	0	22	6	0	4

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

# ・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用